

川崎町個別施設計画



令和 3 年 3 月

川 崎 町

目次

第1章 計画の概要	1
1 計画の背景と目的	1
2 計画の位置づけ	2
3 計画期間	3
第2章 計画対象施設	4
1 対象施設の数量	4
2 対象施設一覧	5
3 築年数別整備状況	10
第3章 施設の状態等の調査	11
1 施設の状態等の調査（施設カルテの作成）	11
2 施設カルテの見方	12
第4章 施設カルテ（各施設の現状と方向性）	13
1 学校教育系施設	13
2 産業系施設	14
3 社会教育系施設	21
4 保健福祉系施設	50
5 行政系施設	58
6 体育系施設	87
第5章 対策の優先順位の考え方	88
1 優先順位の考え方	88
第6章 対策の実施方針	89
1 施設点検の基本方針	89
2 長寿命化の基本方針	91
3 対策費用の試算	94

第 1 章 計画の概要

1 計画の背景と目的

わが国では、高度経済成長期における急激な人口増加と社会環境の変化に伴い、教育施設、集会施設などの公共施設や道路・橋梁・上下水道などのインフラ施設の整備が進められてきました。しかし、その当時から建築された公共施設等の多くが築 30 年以上経過し、現在、全国的に公共施設等の老朽化対策が大きな課題となっています。

一方で、多くの地方公共団体において財政状況が一層厳しさを増していくことに加え、人口減少や少子高齢化等の進行に伴う社会経済情勢の急激な変動により、公共施設等の利用需要が変化していくことが予想されます。そのため、早急に公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点に立って、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担の軽減・平準化を図るとともに、公共施設等の最適な配置や有効活用を進めていく必要があります。

このような中、国においては、平成 25 年（2013 年）11 月に「インフラ長寿命化基本計画」（インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議）を策定し、公共施設等の老朽化対策への取り組みを始めました。また、平成 26 年（2014 年）4 月には、地方公共団体に対して「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について」を通知し、「公共施設等総合管理計画」の策定を要請しました。

本町においても全国的な傾向と同様に、公共施設等の老朽化が進んでいる状況にあり、これらの維持管理に要する経費や大規模改修・建替え等に必要な経費は、今後の町財政にとって大きな負担となることが予想されます。そのため、人口や財政規模に応じた質・量ともに適正な公共施設等の配置とその計画的な保全を推進することをとおして、将来にわたって持続可能な行財政運営を維持していく必要があります。

また一方で、時代の変化や町民ニーズの高度化・多様化への対応、災害対策の強化、ユニバーサルデザイン化・バリアフリー化、環境への配慮など、安全・安心で暮らしやすいまちづくりとの整合を図りながら、公共施設等を総合的かつ計画的にマネジメントしていくことが求められています。

こうした状況を踏まえ、本町では、今後の人口や財政状況等の見通しに関する把握・分析と、公共施設等の現状や将来にわたって必要な更新費用等の調査・検討を重ねた上で、公共施設等の維持管理に関する基本方針等を盛り込んだ「川崎町公共施設等総合管理計画」（以下、「公共施設等総合管理計画」という）を平成 29 年（2017 年）3 月に策定しました。

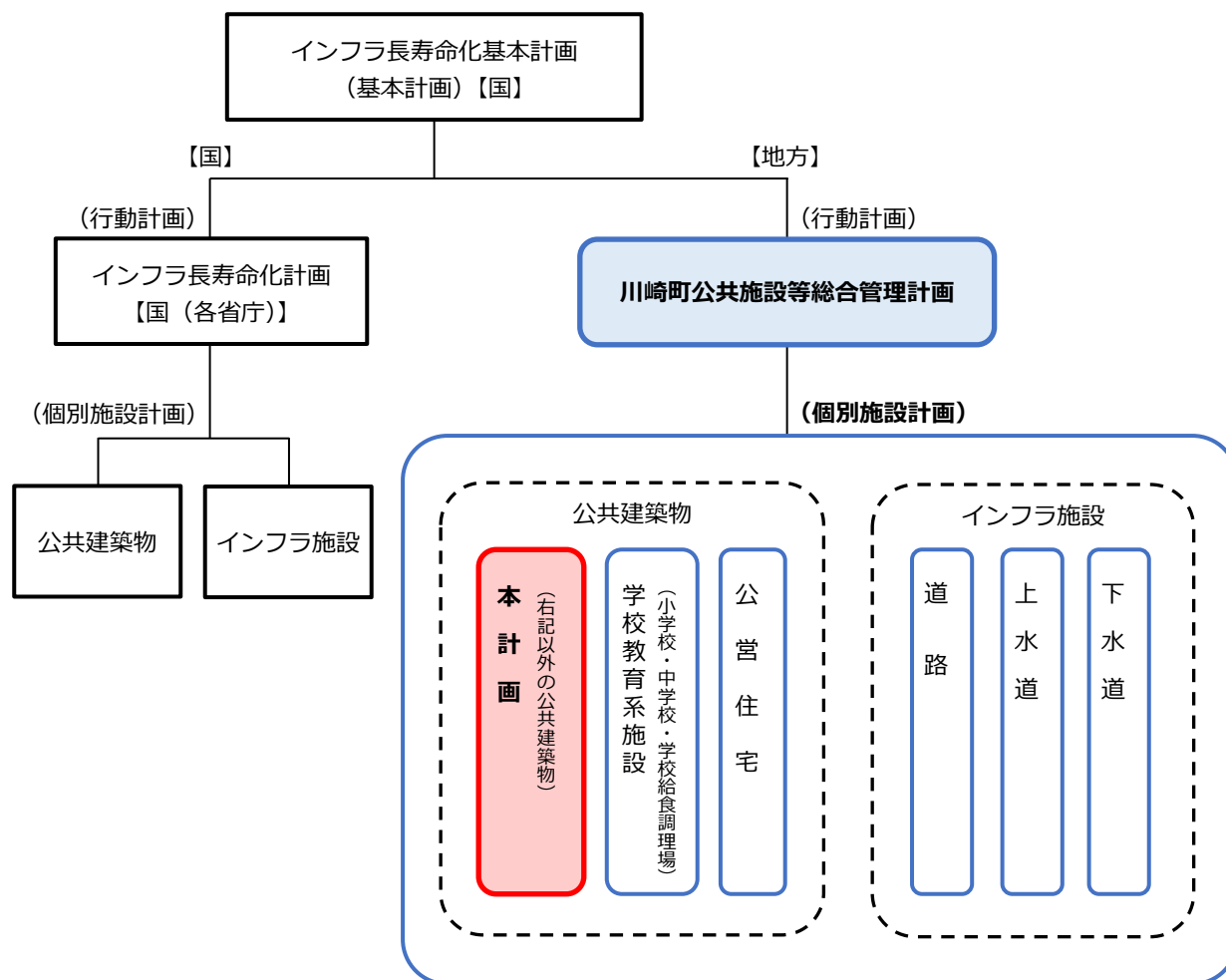
本計画は、公共施設等総合管理計画で定めた基本方針に基づき、計画的かつ全庁的な公共施設マネジメントに取り組むべく、個別施設ごとの現状と課題の整理及び今後の方向性等を検討し、各施設の具体的な対応方針を定める「個別施設計画」として策定したものです。

2 計画の位置づけ

本計画は、公共施設等総合管理計画の下位計画として、国のインフラ長寿命化基本計画の体系における「個別施設計画」として位置づけます。

本計画では、公共施設等総合管理計画に示した公共建築物のうち、別途長寿命化計画を策定済みの「学校教育系施設」（小学校・中学校・学校給食調理場）、「公営住宅」を除く全ての施設を対象とします。

<計画の位置づけ>



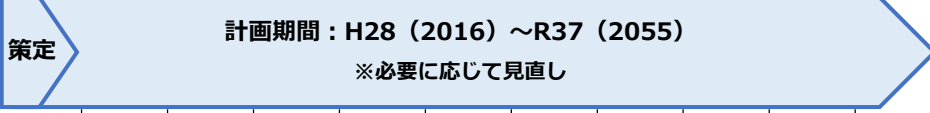
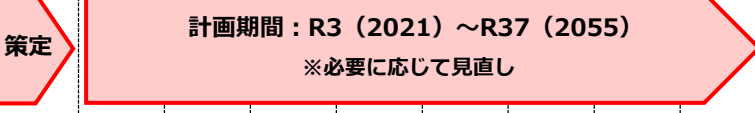
3 計画期間

本計画の計画期間は、公共施設等総合管理計画の計画期間との整合性の観点から、令和 3 年度（2021 年度）から令和 37 年度（2055 年度）までの 35 年間とします。

また、本計画は、公共施設等総合管理計画及び各課の個別計画や事業計画との整合を図るとともに、制度改正や財政状況・地域環境の変化等、計画の前提条件に変更が生じた場合には、必要に応じて適宜見直しを行います。

なお、対策費用の試算期間は、長期的な行財政運営の参考とするため 40 年とします。

<計画期間>

計 画	H28 2016 年度	～	R2 2020 年度	～	R7 2025 年度	～	R17 2035 年度	～	R27 2045 年度	～	R37 2055 年度
川崎町公共施設等 総合管理計画 (計画期間：10 年間)											
川崎町個別施設計画 (計画期間：35 年間)											

第2章 計画対象施設

1 対象施設の数量

本計画で扱う対象施設は、全 71 施設（117 棟）で延床面積の合計は 34,080.38 ㎡です。

なお、施設分類（大分類・中分類）は、公共施設等総合管理計画の分類に基づきますが、施設数・建物数及び延床面積は令和2年度（2020年度）末時点の固定資産台帳を基に集計しています。

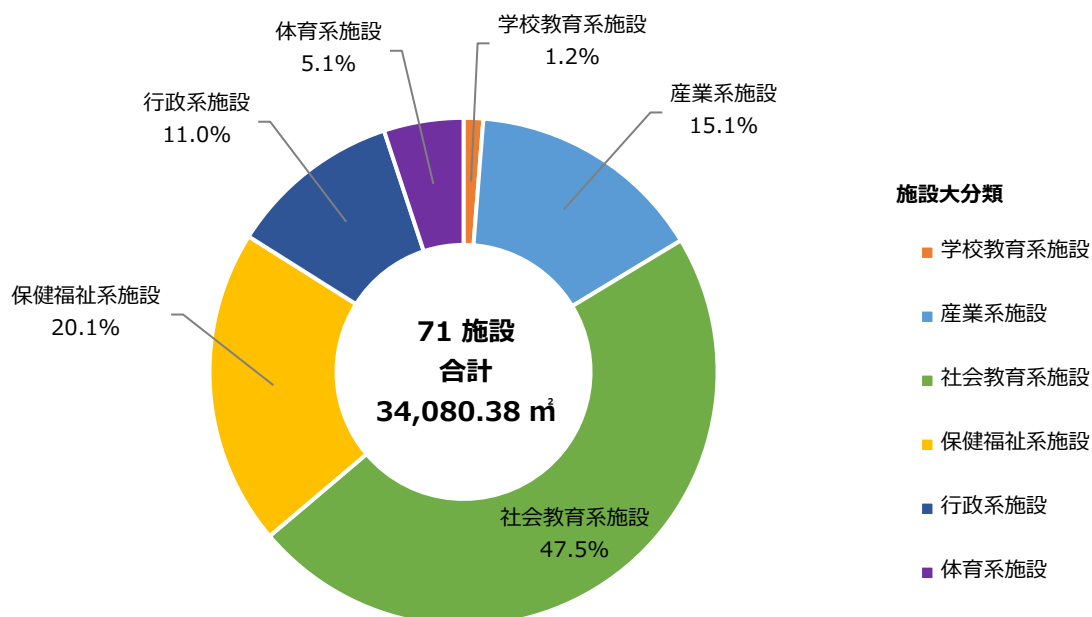
<対象施設の数及び面積等>

令和2年度（2020年度）末時点

施設分類			施設数	建物数 (棟)	延床面積 (㎡)	面積割合 (%)	
大分類	中分類					中分類	大分類
公共建築物	学校教育系施設	幼稚園	1	1	425.68	1.2	1.2
	産業系施設	観光施設	6	22	5,143.97	15.1	15.1
	社会教育系施設	公民館	8	9	2,833.12	8.3	47.5
		開発センター	1	1	1,735.43	5.1	
		集落センター等	12	12	2,251.99	6.6	
		コミュニティセンター	4	4	1,577.03	4.6	
		地域活性化施設	4	17	7,781.00	22.8	
	保健福祉系施設	医療福祉施設	2	6	3,751.45	11.0	20.1
		子育て支援施設	4	9	3,111.08	9.1	
	行政系施設	庁舎等	2	9	2,957.33	8.7	11.0
		消防施設	26	26	785.26	2.3	
	体育系施設	体育施設	1	1	1,727.04	5.1	5.1
合 計			71	117	34,080.38		

※数値は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

<施設大分類別延床面積割合>



2 対象施設一覧

本計画の対象施設の一覧を下表に示します。

<対象施設一覧①>

令和2年度(2020年度)末時点

施設分類		施設 番号	施設名称	建物名称	建築 年度	構造	延床面積 (㎡)		
大分類	中分類								
学校教育系 施設	幼稚園	1	富岡幼稚園	幼稚園	1993	木造	425.68		
学校教育系施設		小計	1 施設	1 棟			425.68		
産業系施設	観光施設	2	青根温泉共同浴場	公衆浴場棟	2006	木造	190.00		
				健康増進棟	2006	木造	184.00		
				屋外ステージ他	2006	木造	61.00		
		4	セントメリースキー場	3	青根洋館	展示室	2002	木造	189.00
				スキーセンター	スキーセンター	1990	鉄骨造	2,318.84	
					スキースクール	1990	木造	108.30	
					S M S 機械室	1990	鉄骨造	28.80	
					污水处理場機械室	1990	鉄骨造	81.40	
					L P ガス貯蔵庫	1990	コンクリートブロック造	12.87	
					スナックハウス	1990	鉄骨造	147.33	
					スターライトリフト 監視室	1990	木造	16.00	
					ミルキーウェイリフト 監視室	1990	木造	30.00	
					プラネットリフト 監視室	1990	木造	12.00	
					ムーンライトリフト 監視室	1990	木造	12.00	
					レンタルハウス	1991	鉄骨造	265.00	
					トイレハウス	1991	木造	スキーセンター内	
		機械車庫	1992	鉄骨造	289.63				
		5	るぼぼかわさき	宿泊施設	1996	木造	980.00		
		6	オートキャンプ場	サニタリーハウス	1996	木造	177.00		
				屋外洗場 1（A サイト）	1996	木造	9.00		
				屋外洗場 2（B サイト）	1996	木造	9.00		
		7	青根温泉街観光客用トイレ	公衆用トイレ	2015	木造	22.80		
産業系施設		小計	6 施設	22 棟			5,143.97		

第2章 計画対象施設

<対象施設一覧②>

令和2年度(2020年度)末時点

施設分類		施設 番号	施設名称	建物名称	建築 年度	構造	延床面積 (㎡)
大分類	中分類						
社会教育系 施設	公民館	8	川崎町公民館	集会施設	1971	鉄筋コンクリート	895.00
		9	野上分館	集会施設	1988	木造	310.00
		10	古関分館	集会施設	1991	木造	207.00
		11	笹谷分館	集会施設	1982	鉄筋コンクリート	435.00
				体育館	1982	鉄筋コンクリート	273.00
		12	小野分館	集会施設	1986	木造	202.00
		13	川内3分館	集会施設	1988	木造	155.00
		14	大針分館	集会施設	2003	木造	204.00
		15	支倉台分館	集会施設	1984	鉄骨造	152.12
	開発センター	16	川崎町山村開発センター	集会施設	1981	鉄筋コンクリート	1,735.43
	集落センター 等	17	川内地区生活改善センター	集会施設	1973	木造	149.00
		18	天神地区生活改善センター	集会施設	1979	木造	179.01
		19	腹帯地区集落センター	集会施設	1980	木造	156.33
		20	前川東部地区集落センター	集会施設	1982	木造	171.72
		21	支倉上地区集落センター	集会施設	1983	木造	158.76
		22	碓石地区集落センター	集会施設	1986	木造	216.13
		23	安達地区集落センター	集会施設	1986	木造	49.68
		24	本砂金地区集落センター	集会施設	1987	木造	169.91
		25	前川西地区集落センター	集会施設	1994	木造	181.36
		26	支倉郷土文化伝承館	集会施設及び展示室	1994	木造	427.51
		27	立野地区集落センター	集会施設	1994	木造	237.73
		28	支倉下地区集落センター	集会施設	1998	木造	154.85
	コミュニティ センター	29	中央コミュニティセンター	集会施設	1991	木造	179.00
		30	本荒町コミュニティセンター	集会施設	1994	木造	162.00
		31	裏丁コミュニティセンター	集会施設	2002	鉄筋コンクリート	336.28
		32	川内北川コミュニティセンター	集会施設	1982	鉄筋コンクリート	899.75
	地域活性化 施設	33	旧川内小学校	校舎	1986	鉄筋コンクリート	1,500.00
				校舎(ポンプ室)	1986	鉄骨造	5.00

＜対象施設一覧③＞

令和2年度(2020年度)末時点

施設分類		施設 番号	施設名称	建物名称	建築 年度	構造	延床面積 (㎡)
大分類	中分類						
社会教育系 施設	地域活性化 施設	33	旧川内小学校	校舎（プール附属室）	1975	木造	70.00
				体育館	1993	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	807.00
				校舎（倉庫）	2000	鉄骨造	36.00
		34	旧本砂金小学校	校舎	1989	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	1,300.00
				体育館	1990	鉄骨造	600.00
				校舎（プール附属室）	1977	木造	51.00
				校舎（ポンプ室）	1977	鉄骨造	3.00
		35	旧支倉小学校	校舎	1994	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	1,511.00
				校舎（倉庫）	1994	木造	50.00
				体育館	1995	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	851.00
				校舎（プール附属室） 1	1971	木造	21.00
				校舎（プール附属室） 2	1971	木造	25.00
		36	旧前川小学校青根分校	校舎	1995	木造	450.00
				体育館	1987	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	494.00
				体育館（通路）	1995	鉄骨造	7.00
社会教育系施設		小計	29 施設	43 棟			16,178.57
保健福祉系 施設	医療福祉施設	37	健康福祉センター	保健福祉複合施設	1994	鉄骨鉄筋 ｺﾝｸﾘｰﾄ	3,139.67
				障害者小規模作業場	2002	軽量鉄骨造	保健福祉 複合施設内
				エネルギー棟	1995	鉄骨鉄筋 ｺﾝｸﾘｰﾄ	302.60
				公用車庫 1	1995	鉄骨鉄筋 ｺﾝｸﾘｰﾄ	182.70
				公用車庫 2	1995	鉄骨鉄筋 ｺﾝｸﾘｰﾄ	126.48
		38	国民健康保険川崎病院	国民健康保険川崎病院	1994	鉄骨鉄筋 ｺﾝｸﾘｰﾄ	健康福祉 センター内
	子育て支援 施設	39	かわさきこども園	こども園（幼児棟）	2003	木造	1,465.96
				こども園（乳児棟）	2011	木造	722.41
				倉庫（幼児棟）	2011	木造	25.92
				倉庫（乳児棟）	2011	木造	16.00
				プロパン庫	2003	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	12.42
ごみ集積所				2003	軽量鉄骨造	5.81	

第2章 計画対象施設

<対象施設一覧④>

令和2年度(2020年度)末時点

施設分類		施設 番号	施設名称	建物名称	建築 年度	構造	延床面積 (㎡)
大分類	中分類						
保健福祉系 施設	子育て支援 施設	40	川崎児童教室	児童教室	1981	鉄骨造	440.10
		41	碁石児童教室	児童教室	1995	木造	51.04
		42	今宿児童教室	児童教室	1980	鉄骨造	371.42
保健福祉系施設		小計	6 施設	15 棟			6,862.53
行政系施設	庁舎等	43	役場庁舎	本庁舎	1966	鉄筋コンクリート	1,714.06
				西庁舎	1989	鉄筋コンクリート	775.36
				書庫	1984	鉄筋コンクリート	89.06
				倉庫 1	不明	コンクリートブロック	17.01
				倉庫 2	不明	鉄骨造	9.72
				ボイラー室	不明	鉄筋コンクリート	68.80
				大型バス車庫	1968	鉄筋コンクリート	93.84
				大型特殊車用車庫	不明	鉄筋コンクリート	159.88
	44	富岡支所	支所庁舎（伝承館 1 室）	1994	木造	29.60	
	消防施設	45	自動車班ポンプ格納庫	ポンプ格納庫	1999	鉄骨造	74.53
		46	裏丁班ポンプ格納庫	ポンプ格納庫	2005	鉄骨造	38.64
		47	荒町上班ポンプ格納庫	ポンプ格納庫	2017	鉄骨造	24.00
		48	荒町下班ポンプ格納庫	ポンプ格納庫	2008	鉄骨造	20.00
		49	中町班ポンプ格納庫	ポンプ格納庫	2009	鉄骨造	24.00
		50	新町班ポンプ格納庫	ポンプ格納庫	2018	コンクリートブロック	24.00
		51	小野班ポンプ格納庫	ポンプ格納庫	2014	鉄骨造	25.00
		52	大針班ポンプ格納庫	ポンプ格納庫	2010	コンクリートブロック	24.00
		53	石丸班ポンプ格納庫	ポンプ格納庫	2015	鉄骨造	25.00
		54	立野班ポンプ格納庫	ポンプ格納庫	2013	鉄骨造	25.00
		55	野上上班ポンプ格納庫	ポンプ格納庫	2000	鉄骨造	32.50
		56	野上下班ポンプ格納庫	ポンプ格納庫	1992	鉄骨造	46.60
		57	古関班ポンプ格納庫	ポンプ格納庫	2003	鉄骨造	20.00
		58	笹谷班ポンプ格納庫	ポンプ格納庫	1996	鉄骨造	36.05
		59	音無班ポンプ格納庫	ポンプ格納庫	2012	鉄骨造	24.00

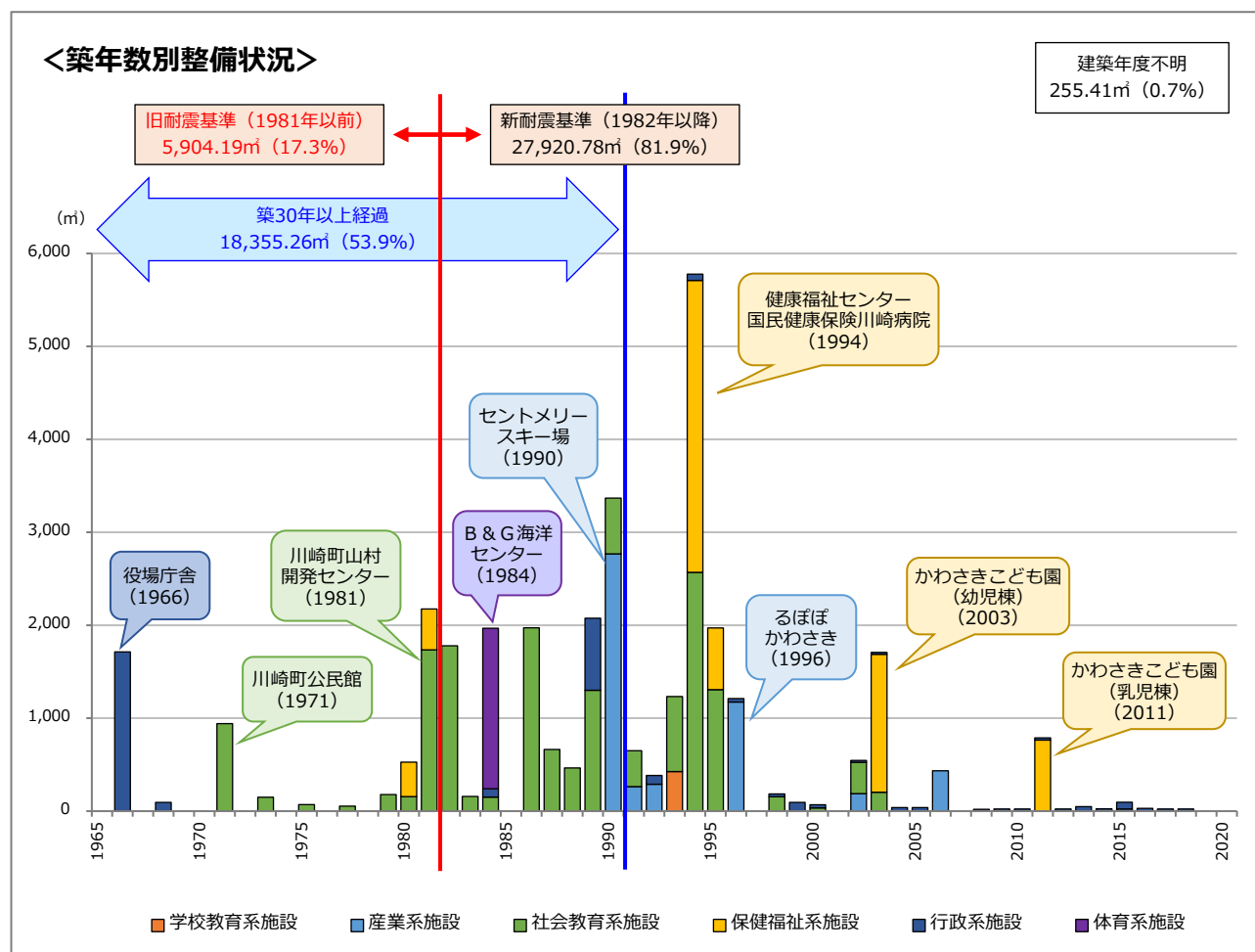
＜対象施設一覧⑤＞

令和2年度（2020年度）末時点

施設分類		施設 番号	施設名称	建物名称	建築 年度	構造	延床面積 (㎡)
大分類	中分類						
行政系施設	消防施設	60	支倉中班ポンプ格納庫	ポンプ格納庫	2004	鉄骨造	38.64
		61	宮下班ポンプ格納庫	ポンプ格納庫	2002	鉄骨造	20.00
		62	碁石班ポンプ格納庫	ポンプ格納庫	2015	鉄骨造	24.00
		63	支倉台班ポンプ格納庫	ポンプ格納庫	1998	鉄骨造	30.46
		64	前川班ポンプ格納庫	ポンプ格納庫	1994	鉄骨造	38.64
		65	浪形班ポンプ格納庫	ポンプ格納庫	2011	鉄骨造	24.00
		66	腹帯班ポンプ格納庫	ポンプ格納庫	2015	鉄骨造	24.00
		67	青根班ポンプ格納庫	ポンプ格納庫	1992	鉄骨造	47.70
		68	川内班ポンプ格納庫	ポンプ格納庫	1999	鉄骨造	20.00
		69	天神班ポンプ格納庫	ポンプ格納庫	2013	鉄骨造	24.00
		70	本砂金班ポンプ格納庫	ポンプ格納庫	2016	鉄骨造	30.50
行政系施設		小計	28 施設	35 棟			3,742.59
体育系施設	体育施設	71	B & G 海洋センター	体育館	1984	鉄筋コンクリート (一部木造)	1,727.04
体育系施設		小計	1 施設	1 棟			1,727.04
計画対象施設		合計	71 施設	117 棟			34,080.38

3 築年数別整備状況

本計画の対象施設の築年数別整備状況をみると、1980年代～1990年代半ばに多くの公共建築物が整備されてきたことがわかります。また、昭和56年（1981年）の新耐震基準以前に建築された施設は延床面積ベースで全体の17.3%、大規模改修の目安とされる築30年以上の施設は全体の53.9%を占めています。

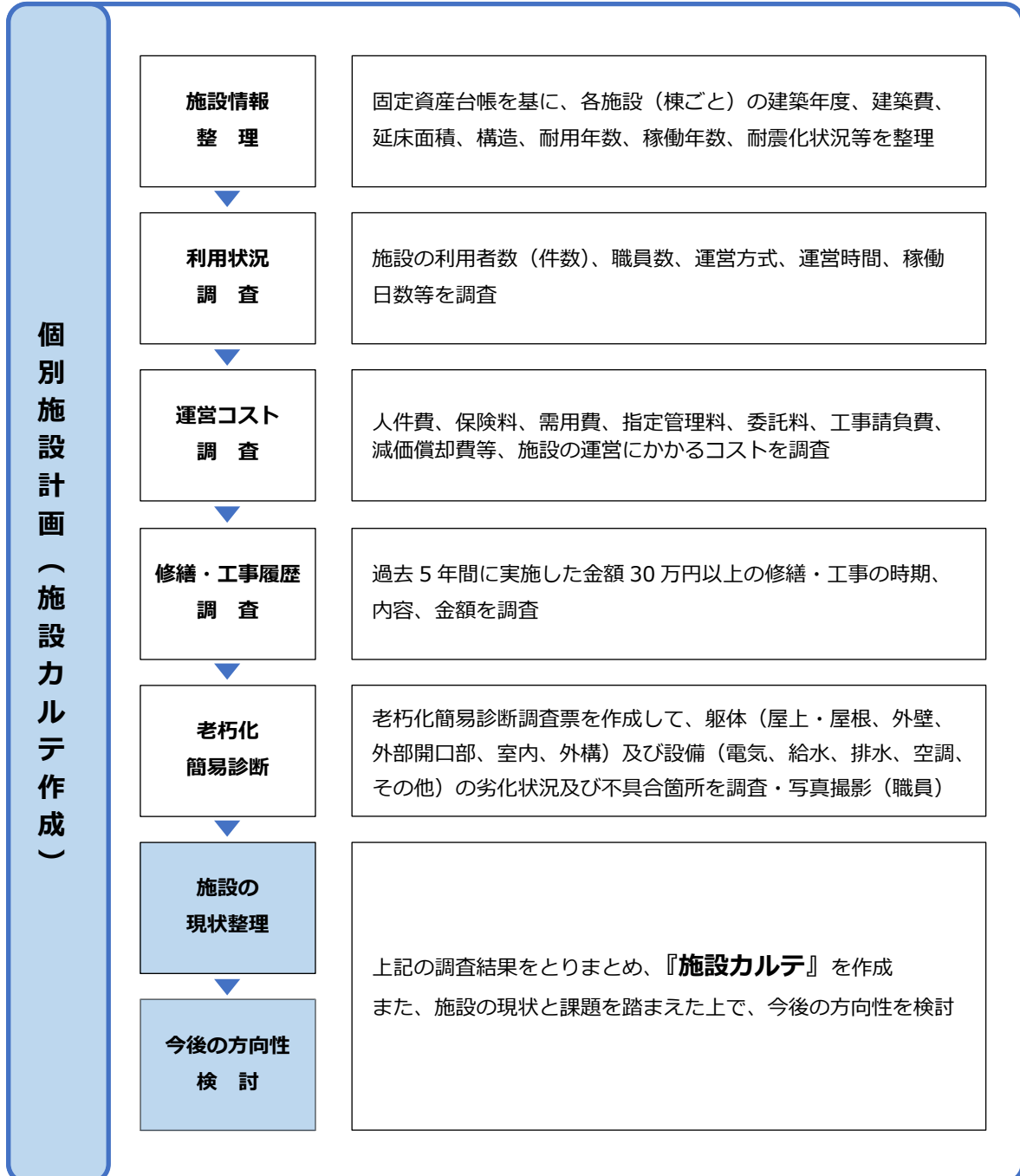


第3章 施設の状態等の調査

1 施設の状態等の調査（施設カルテの作成）

本計画では、以下のフローに基づき、個別施設ごとに利用・運営状況や修繕・工事履歴の調査、また簡易的な老朽化診断等を実施して、施設の現状と課題を整理した上で、今後の方向性等について検討し、個別施設ごとの「施設カルテ」を作成しました。

<施設の状態等の調査と方向性の検討フロー>



2 施設カルテの見方

施設カルテの見方は以下のとおりです。

〇〇系施設

施設 No.〇 施設名

施設分類・施設名称

※施設分類は公共施設等総合管理計画と対応

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	
所在地	
代表建築年度	
建築費	
構造	
延床面積	耐震
耐用年数	耐震
稼働年数	避震
付帯施設	

施設概要

固定資産台帳を基に施設の基本的な情報を記載

- ・代表建築年度… 主要な建物の建築年度
- ・建築費… 全ての建物の合計建築費
- ・延床面積… 全ての建物の合計延床面積
- ・構造… 主要な建物の構造
- ・耐用年数… 主要な建物の法定耐用年数
- ・稼働年数… 主要な建物の稼働年数（令和元年度末時点）
- ・耐震基準… 昭和 56 年（1981 年）以前に建築：新基準
昭和 57 年（1982 年）以降に建築：旧基準
- ・耐震改修… 新基準の施設：－
旧基準の施設で耐震改修済み：○
旧基準の施設で耐震改修規模要件外：－

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）					
職員数	職員数の記載 正 … 正職員 臨 … 臨時職員				
運営方式					
運営時間					
稼働日数（稼働率）					
運営経費					

利用・運営状況

過去 5 年間の施設の利用状況・運営状況を記載
 ※施設内に複数の建物がある場合の記載内容
 建物ごとに利用・運営の状況が異なっており、
 かつ建物ごとに個別に状況を把握可能な場合
 ⇒ 建物ごとに分けて利用状況等を記載

(2) 施設の状態（施設・工事履歴）

実施年度	運営経費の記載 施設内の全ての建物に係る支出の合計 ・人件費、保険料、需用費、委託料、 工事請負費、減価償却費、その他支出	修繕・工事費

施設の状態（修繕・工事履歴）

原則としては過去 5 年間で金額 30 万円以上の修繕・工事を記載
 ※5 件以上の修繕・工事を実施している場合の記載内容
 ⇒ 金額が大きい順に 5 件を抽出して記載

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	
施設の現状	
今後の方向性	

施設の現状と方向性

施設の利用目的・現在の状態・今後の方向性について
 本計画策定時点での考え方を記載

第4章 施設カルテ（各施設の現状と方向性）

1 学校教育系施設

施設 No.1 富岡幼稚園

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	富岡幼稚園			所 管 課	幼児教育課
所 在 地	大字支倉字落田郷山 8-3			施設分類	学校教育系施設（幼稚園）
代表建築年度	平成 5 年（1993 年）度				
建 築 費	69,601,000 円	再調達価額			
構 造	木造				
延床面積	425.68 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	22 年	耐震改修	－		
稼働年数	26 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
園 児 数	15 人	18 人	16 人	12 人	12 人
職 員 数	正 3 人 臨 1 人	正 3 人 臨 2 人	正 3 人 臨 2 人	正 3 人 臨 2 人	正 3 人 臨 1 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30～14:00	8:30～14:00	8:30～14:00	8:30～14:00	8:30～14:00
稼働日数（稼働率）	200 日（55%）	201 日（55%）	203 日（56%）	202 日（55%）	201 日（55%）
運営経費	15,799,947 円	13,632,846 円	14,188,944 円	14,242,040 円	12,275,688 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 30 年度	テラス屋根工事	491,400 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 3 歳児から小学校就学前の子どもに対し心身共に健やかな成長と発達を見据えた保育・幼児教育を実施している。 ・ 子育て家庭、就労家庭の育児支援を行っている。 ・ 町内の 3 ～ 5 歳児の約 1 割が在園している。
施設の現状	・ 園児数は開設当初と比較して大幅に減少しているので密集することなく広々と使用している。
今後の方向性	・ 入園者数が年々減少傾向にあり、将来的にはこども園と統合して閉園の検討も必要である。

2 産業系施設

施設 No.2 青根温泉共同浴場

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	青根温泉共同浴場			所 管 課	地域振興課
所 在 地	青根温泉 9-1			施設分類	産業系施設（観光施設）
代表建築年度	平成 18 年（2006 年）度				
建 築 費	104,895,000 円	再調達価額			
構 造	木造				
延床面積	435.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	22 年	耐震改修	－		
稼働年数	13 年	避 難 所	○		
付帯施設	公衆浴場棟、健康増進棟、屋外ステージ他				

②利用・運営状況

		平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用 者数 (件数)	公衆浴場棟	91,100 人	91,900 人	89,000 人	89,500 人	85,300 人
	健康増進棟	5,200 人	5,000 人	4,700 人	4,100 人	3,400 人
	屋外ステージ他	3 件	3 件	3 件	3 件	3 件
職 員 数		－	－	－	－	－
運営方式		指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営 時間	公衆浴場棟	6:30～21:30	6:30～21:30	6:30～21:30	6:30～21:30	6:30～21:30
	健康増進棟	10:00～16:00	10:00～16:00	10:00～16:00	10:00～16:00	10:00～16:00
稼働日数（稼働率）		365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費		8,345,230 円	7,262,638 円	7,240,248 円	8,344,392 円	9,889,036 円

(2) 施設の状況（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 27 年度	青根温泉じゃっぽの湯舗装工事	1,188,000 円
令和元年度	青根温泉じゃっぽの湯ボイラー交換工事	627,000 円
令和元年度	青根温泉じゃっぽの湯健康増進棟指定避難所空調設備整備工事	1,946,766 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	公衆浴場棟	・地域住民のための公衆浴場としての役割だけでなく、観光客の入浴施設にもなっている。
	健康増進棟	・運営会社の事務所、調理室、入浴施設利用者の休憩所、トイレが入っている。
	屋外ステージ他	・イベントの際に利用している。
施設の現状	公衆浴場棟	・外壁の修繕箇所はないが、天井や扉などは湿度が高いため修繕の必要な箇所は出てきている。
	健康増進棟	・10 年以上経過しているが、現段階では修繕箇所等はない。
	屋外ステージ他	・10 年以上経過しているが、現段階では修繕箇所等はない。
今後の方向性	公衆浴場棟	・計画的に修繕し、長期での利用ができるようにする。
	健康増進棟	・メンテナンスをしながら、現状維持で利用を続ける。
	屋外ステージ他	・メンテナンスをしながら、現状維持で利用を続ける。

施設 No.3 青根洋館

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	青根洋館			所 管 課	地域振興課
所 在 地	青根温泉 10-1			施設分類	産業系施設（観光施設）
代表建築年度	平成 14 年（2002 年）度				
建 築 費	52,500,000 円	再調達価額			
構 造	木造				
延床面積	189.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	24 年	耐震改修	－		
稼働年数	17 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	10,700 人	11,000 人	9,300 人	7,700 人	7,400 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	9:00～17:00 ※冬期 9:00～16:00	9:00～17:00 ※冬期 9:00～16:00	9:00～17:00 ※冬期 9:00～16:00	9:00～17:00 ※冬期 9:00～16:00	9:00～17:00 ※冬期 9:00～16:00
稼働日数（稼働率）	358 日（98%）	358 日（98%）	358 日（98%）	358 日（98%）	358 日（98%）
運営経費	2,287,180 円	3,133,835 円	2,270,773 円	2,427,049 円	2,270,773 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 28 年度	青根洋館スロープ内手摺柵新設工事	482,760 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 観光施設として、1 階は観光案内所とカフェ、2 階は古賀政男記念館となっている。
施設の現状	・ 明治時代に建築された建物を移築したものであるが、大きな修繕等はない。雨漏り等も発生していない。
今後の方向性	・ 青根温泉のシンボルとして今後も指定管理による運営を継続する。

施設 No.4 セントメリースキー場

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	セントメリースキー場			所 管 課	地域振興課
所 在 地	大字今宿字猪ノ沢 3-10			施設分類	産業系施設（観光施設）
代表建築年度	平成 2 年（1990 年）度				
建 築 費	3,900,932,921 円	取得価額			
構 造	鉄骨造 ほか				
延床面積	3,322.17 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	40 年	耐震改修	－		
稼働年数	29 年	避 難 所	－		
付帯施設	スキーセンター、スキースクール、スナックハウス、レンタルハウス、リフト監視室（4 棟）、機械室、車庫ほか				

②利用・運営状況

		平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数 (件数)	スキーセンター	37,200 人	46,000 人	57,700 人	50,100 人	13,700 人
	スキースクール	1,600 人	1,600 人	1,600 人	1,600 人	800 人
	レンタルハウス	6,300 人	6,000 人	8,400 人	7,800 人	1,900 人
職員数		—	—	—	—	—
運営方式		指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間		9:00～17:00 ※ナイト 17:30～22:00	9:00～17:00 ※ナイト 17:30～22:00	9:00～17:00 ※ナイト 17:30～22:00 ※夏季 9:00～16:00	9:00～17:00 ※ナイト 17:30～22:00 ※夏季 9:00～16:00	9:00～17:00 ※ナイト 17:30～22:00 ※夏季 9:00～16:00
稼働日数（稼働率）		84 日（23%）	91 日（25%）	90 日（25%）	104 日（28%）	86 日（24%）
運営経費		128,916,865 円	134,445,683 円	196,799,935 円	352,626,597 円	125,379,787 円

※夏季 7～11 月、冬季 12～3 月

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 29 年度	セントメリースキー場横断歩道橋塗装塗替工事	16,071,480 円
平成 29 年度	セントメリースキー場ミルキーウェイ原動側電気設備更新工事	49,464,000 円
平成 30 年度	セントメリースキー場ミルキーウェイリフト握索機更新工事	14,472,000 円
平成 30 年度	セントメリースキー場スターライトリフト通信線他更新工事	19,548,000 円
平成 30 年度	セントメリースキー場サマーゲレンデ整備工事	167,051,160 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	スキーセンター	・スキー場の中心施設であり、1 階は利用券の販売窓口、事務所、売店があり、2 階はカフェテリアになっている。1 階にはトイレ、ファーストフード（厨房含む）の販売店も併設している。
	スキースクール	・スキースクール講師の待機室、準備室として使用している。
	SMS 機械室	・ボイラーなどの機械室として使用している。
	污水处理場機械室	・下水に切り替えているため現在使用していない。
	L P ガス貯蔵庫	・L P ガスタンクの貯蔵のために使用している。
	スナックハウス	・スキーセンター内にありファーストフード販売で利用している。
	スターライトリフト監視室 ミルキーウェイリフト監視室 プラネットリフト監視室 ムーンライトリフト監視室	・リフト乗降時の緊急対応のため、職員の待機に利用している。
	レンタルハウス	・スキー板やシューズなどのレンタル窓口として利用している。
	トイレハウス	・センターハウス内にあり、利用客が利用している。
	機械車庫	・除雪機、降雪機などの格納に使用している。

施設の現状	スキーセンター	・ 建築から約 30 年が経過し老朽化が進んでおり修繕箇所が多数ある。 (雨漏り、換気扇、温水設備等)
	スキースクール	・ 軽微な修繕は行っているが、利用する上での支障は特段ない。
	SMS 機械室	・ 機械室自体に修繕箇所はない。
	汚水処理場機械室	・ 下水に切り替えているため現在使用していない。
	LP ガス貯蔵庫	・ 修繕箇所等はない。
	スナックハウス	・ 厨房設備での軽微な修繕はあるが、利用の上の支障はない。
	スターライト監視室	・ 老朽化は進んでいるが、利用の上では支障はない。
	ミルキーウェイ監視室	・ 老朽化は進んでいるが、利用の上では支障はない。
	プラネット監視室	・ 老朽化は進んでいるが、利用の上では支障はない。
	ムーンライト監視室	・ 老朽化は進んでいるが、利用の上では支障はない。
	レンタルハウス	・ 老朽化が進み、内・外壁にクラックが多数みられる。
	トイレハウス	・ センターハウス内にあるため、トイレハウス自体の修繕箇所等はない。
	機械車庫	・ 老朽化は進んでいるが、利用の上では支障はない。
今後の方向性	スキーセンター	・ スキー場を営業する上で必要不可欠な建物であるため、随時修繕、計画的な改修を行いながら現在の建物の利用を続けられるようにする。
	スキースクール	・ 随時修繕を行いながら利用していく。
	SMS 機械室	・ 現状維持で利用を続ける。
	汚水処理場機械室	・ 今後も利用の予定はない。
	LP ガス貯蔵庫	・ 現状維持で利用を続ける。
	スナックハウス	・ 随時修繕を行いながら、現状維持で利用を続けていく。
	スターライト監視室	・ 現状維持で利用を続ける。
	ミルキーウェイ監視室	・ 現状維持で利用を続ける。
	プラネット監視室	・ 現状維持で利用を続ける。
	ムーンライト監視室	・ 現状維持で利用を続ける。
	レンタルハウス	・ 随時修繕、計画的な改修が行いながら、利用を続けていく。
	トイレハウス	・ 現状維持で利用を続ける。
	機械車庫	・ 現状維持で利用を続ける。

施設 No.5 るぽかわさき

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	るぽかわさき			所 管 課	地域振興課
所 在 地	大字今宿字小屋沢山 39			施設分類	産業系施設（観光施設）
代表建築年度	平成 8 年（1996 年）度				
建 築 費	38,556,000 円	再調達価額			
構 造	木造				
延床面積	980.00 ㎡	耐震基準	新		
耐用年数	22 年	耐震改修	－		
稼働年数	23 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	14,400 人	5,800 人	15,000 人	22,900 人	19,000 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	153 日（42%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	13,876,728 円	11,607,315 円	11,279,904 円	9,781,153 円	10,051,436 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 27 年度	るぽかわさき和室ルームエアコン更新工事	1,186,002 円
平成 27 年度	るぽかわさき浴槽循環濾過器改修工事（女子）	1,242,853 円
平成 27 年度	るぽかわさき浴槽循環濾過器改修工事（男子）	1,242,853 円
平成 28 年度	るぽかわさきレストラン空調機器更新工事	1,188,000 円
平成 28 年度	るぽかわさきテラス木製手摺工事	1,198,800 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 1 階はフロント、食堂、厨房、入浴施設、売店、客室、2 階は客室となっている。
施設の現状	・ 老朽化が進み、雨漏りや入浴施設の天井など修繕箇所は多数あり、随時修繕を進めている。
今後の方向性	・ キャンプサイト利用者のためのフロントにもなっており、営業する上で必要不可欠な建物であるため、随時修繕や計画的な改修をしていく。

施設 No.6 オートキャンプ場

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	オートキャンプ場			所 管 課	地域振興課
所 在 地	大字今宿字小屋沢山 39			施設分類	産業系施設（観光施設）
代表建築年度	平成 8 年（1996 年）度				
建 築 費	56,200,000 円	再調達価額			
構 造	木造				
延床面積	195.00 ㎡	耐震基準	新		
耐用年数	15 年	耐震改修	－		
稼働年数	23 年	避 難 所	－		
付帯施設	サニタリーハウス、屋外洗場（A サイト、B サイト）				



②利用・運営状況

		平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用 者数 (件数)	サニタリーハウス	2,750 人	1,650 人	3,330 人	14,000 人	17,000 人
	屋外洗場(A サイト)	1,120 人	680 人	1,320 人	5,600 人	6,800 人
	屋外洗場(B サイト)	1,680 人	1,020 人	1,980 人	8,400 人	10,200 人
職 員 数		－	－	－	－	－
運営方式		指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間		24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数（稼働率）		365 日（100%）	153 日（42%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費		施設 No.5「るぼぼかわさき」にまとめて計上				

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	サニタリーハウス	・キャンプサイト利用者のためのトイレ、シャワー室、炊事場として利用している。
	屋外洗場（A サイト）	・キャンプサイト利用者のための炊事洗い場として利用している。
	屋外洗場（B サイト）	
施設の現状	サニタリーハウス	・老朽化は進んでいるが修繕箇所等は特段ない。
	屋外洗場（A サイト）	・老朽化は進んでいるが修繕箇所等は特段ない。
	屋外洗場（B サイト）	・老朽化は進んでいるが修繕箇所等は特段ない。
今後の方向性	サニタリーハウス	・メンテナンスをし現状維持で利用を進める。
	屋外洗場（A サイト）	・メンテナンスをし現状維持で利用を進める。
	屋外洗場（B サイト）	・メンテナンスをし現状維持で利用を進める。

施設 No.7 青根温泉街観光客用トイレ

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	青根温泉街観光客用トイレ			所 管 課	地域振興課
所 在 地	青根温泉 10-1			施設分類	産業系施設（観光施設）
代表建築年度	平成 27 年（2015 年）度				
建 築 費	13,597,200 円	取得価額			
構 造	木造				
延床面積	22.80 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	15 年	耐震改修	－		
稼働年数	4 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	13,000 人	13,000 人	11,000 人	8,000 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	－	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	－	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数（稼働率）	－	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	0 円	911,012 円	911,012 円	911,012 円	911,012 円

※減価償却費以外の運営経費は施設 No.2「青根温泉共同浴場」にまとめて計上

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 青根地区の観光客が利用している。
施設の現状	・ 建築して間もないため修繕箇所等はない。
今後の方向性	・ メンテナンスをし現状維持で利用を進める。

3 社会教育系施設

施設 No.8 川崎町公民館

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	川崎町公民館			所 管 課	生涯学習課
所 在 地	大字前川字裏丁 175-2			施設分類	社会教育系施設（公民館）
代表建築年度	昭和 46 年（1971 年） 度				
建 築 費	247,775,000 円	再調達価額			
構 造	鉄筋コンクリート				
延床面積	895.00 ㎡	耐震基準	旧		
耐用年数	50 年	耐震改修	○		
稼働年数	48 年	避 難 所	○		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	8,340 人	7,604 人	7,632 人	8,436 人	8,462 人
職 員 数	正 6 人 臨 2 人	正 6 人 臨 2 人	正 7 人 臨 2 人	正 7 人 臨 2 人	正 6 人 臨 2 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00
稼働日数（稼働率）	360 日（99%）	359 日（98%）	359 日（98%）	359 日（98%）	359 日（98%）
運営経費	23,292,268 円	23,193,962 円	25,045,095 円	24,598,133 円	26,973,539 円

※夜間・休日業務委託

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 28 年度	川崎町公民館ボイラー煙突修繕工事	491,400 円
平成 29 年度	川崎町公民館ボイラー室内防火貯水槽上部油ポンプ周り修繕	378,000 円
令和元年度	川崎町公民館ボイラー室防火扉取替え工事	396,000 円
令和元年度	川崎町公民館エアコン室外機部品交換	367,200 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・社会教育施設として住民向け講座・教室の開催を行うなど、町民の文化活動の拠点である。 ・約 150 人収容の大ホール、48 畳間の和室、講座室・調理室と貸出し可能な蔵書約 7,000 冊を所蔵する図書室を置き、子供から高齢者まで幅広い年代に利用されている。
施設の現状	・建築から 48 年が経過し、経年劣化による不良箇所が多くみられる。 ・また、建設時からの時代の流れもあり、施設設備において現在の使用ニーズに合わない場合もみられる。 ・平成 14 年に空調設備を導入しているが、不具合が度々発生している。
今後の方向性	・これまで部分的な修繕を行って改善を図ってきたが、今後、大規模改修によるリノベーション等により、ユニバーサルデザイン化を取り入れ、住民が使いやすい施設として長寿命化を図る必要があると考える。

施設 No.9 野上分館

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	野上分館			所 管 課	生涯学習課
所 在 地	大字今宿字野上町 23-1			施設分類	社会教育系施設（公民館）
代表建築年度	昭和 63 年（1988 年）度				
建 築 費	49,000,000 円	取得価額			
構 造	木造				
延床面積	310.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	22 年	耐震改修	－		
稼働年数	31 年	避 難 所	○		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	2,253 人	2,595 人	2,385 人	1,953 人	1,676 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00
稼働日数（稼働率）	99 日（27%）	98 日（27%）	95 日（26%）	87 日（24%）	102 日（28%）
運営経費	820,785 円	493,302 円	566,147 円	293,218 円	3,740,773 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 27 年度	野上分館畳修繕	336,960 円
令和元年度	野上分館トイレ洋式化等改良工事	1,538,900 円
令和元年度	川崎町指定避難所空調設備整備事業	1,932,292 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・川崎町公民館の分館であり、地域に根差した公民館活動を行う拠点として長く住民活動に利用されてきた。 ・地区分館長を中心として年間活動を実施するほか、地域の集会所として機能している。
施設の現状	・全体的な耐久性に問題はないと思われるが、経年劣化による破損等が数か所みられる。 ・バリアフリー化における課題もみられる。
今後の方向性	・地域住民の利便性を考慮しつつ、必要箇所の修繕を図りながら、長寿命化に取り組んでいく。

施設 No.10 古関分館

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	古関分館			所 管 課	生涯学習課
所 在 地	大字今宿字吹畑 8-1			施設分類	社会教育系施設（公民館）
代表建築年度	平成 3 年（1991 年）度				
建 築 費	3,409,300 円	取得価額			
構 造	木造				
延床面積	207.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	22 年	耐震改修	－		
稼働年数	28 年	避 難 所	○		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	630 人	910 人	711 人	954 人	805 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00
稼働日数（稼働率）	43 日（12%）	56 日（15%）	46 日（13%）	55 日（15%）	56 日（15%）
運営経費	363,952 円	252,412 円	246,395 円	283,389 円	1,478,338 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
令和元年度	川崎町指定避難所空調設備整備事業	1,133,595 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・川崎町公民館の分館であり、地域に根差した公民館活動を行う拠点として長く住民活動に利用されてきた。 ・地区分館長を中心として年間活動を実施するほか、地域の集会所として機能している。
施設の現状	・全体的な耐久性に問題はないと思われるが、経年劣化による破損等が数か所みられる。
今後の方向性	・地域住民の利便性を考慮しつつ、必要箇所の修繕を図りながら、長寿命化に取り組んでいく。

施設 No.11 笹谷分館

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	笹谷分館			所 管 課	生涯学習課
所 在 地	大字今宿字神林 21			施設分類	社会教育系施設（公民館）
代表建築年度	昭和 57 年（1982 年）度				
建 築 費	155,405,000 円	再調達価額			
構 造	鉄筋コンクリート				
延床面積	708.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	47 年	耐震改修	－		
稼働年数	37 年	避 難 所	○		
付帯施設	体育館				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	465 人	426 人	368 人	296 人	311 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00
稼働日数（稼働率）	51 日（14%）	23 日（6%）	17 日（5%）	21 日（6%）	16 日（4%）
運営経費	3,657,185 円	3,654,727 円	4,078,611 円	3,700,508 円	4,943,076 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 29 年度	笹谷分館屋根修繕	378,000 円
平成 29 年度	笹谷分館流し移動工事	626,400 円
令和元年度	川崎町指定避難所空調設備整備事業	1,307,708 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・川崎町公民館の分館であり、地域に根差した公民館活動を行う拠点として長く住民活動に利用されてきた。 ・地区分館長を中心として年間活動を実施するほか、地域の集会所として機能している。
施設の現状	・全体的な耐久性に問題はないと思われるが、経年劣化による破損等が数か所みられる。
今後の方向性	・地域住民の利便性を考慮しつつ、必要箇所の修繕を図りながら、長寿命化に取り組んでいく。

施設 No.12 小野分館

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	小野分館			所 管 課	生涯学習課
所 在 地	大字小野字町 1-2			施設分類	社会教育系施設（公民館）
代表建築年度	昭和 61 年（1986 年）度				
建 築 費	19,339,000 円		取得価額		
構 造	木造				
延床面積	202.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	22 年	耐震改修	－		
稼働年数	33 年	避 難 所	○		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	192 人	758 人	888 人	752 人	996 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00
稼働日数（稼働率）	32 日（9%）	51 日（14%）	51 日（14%）	50 日（14%）	53 日（15%）
運営経費	266,640 円	226,441 円	224,023 円	2,566,890 円	1,472,864 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 30 年度	小野分館トイレ洋式化改修工事	945,000 円
平成 30 年度	小野分館屋根改修工事	1,295,000 円
令和元年度	川崎町指定避難所空調設備整備事業	1,255,014 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・川崎町公民館の分館であり、地域に根差した公民館活動を行う拠点として長く住民活動に利用されてきた。 ・地区分館長を中心として年間活動を実施するほか、地域の集会所として機能している。
施設の現状	・全体的な耐久性に問題はないと思われるが、経年劣化による破損等が数か所みられる。
今後の方向性	・地域住民の利便性を考慮しつつ、必要箇所の修繕を図りながら、長寿命化に取り組んでいく。

施設 No.13 川内3分館

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	川内 3 分館			所 管 課	生涯学習課
所 在 地	大字川内字向原 333-6			施設分類	社会教育系施設（公民館）
代表建築年度	昭和 63 年（1988 年）度				
建 築 費	14,300,000 円	取得価額			
構 造	木造				
延床面積	155.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	22 年	耐震改修	－		
稼働年数	31 年	避 難 所	○		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)
利用者数（件数）	370 人	477 人	533 人	483 人	536 人
職員数	—	—	—	—	—
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00
稼働日数（稼働率）	42 日（12%）	42 日（12%）	46 日（13%）	41 日（11%）	50 日（14%）
運営経費	237,113 円	225,788 円	193,871 円	305,610 円	2,468,328 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
令和元年度	川内3分館屋根改修工事	1,291,217 円
令和元年度	川崎町指定避難所空調設備整備事業	1,006,550 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・川崎町公民館の分館であり、地域に根差した公民館活動を行う拠点として長く住民活動に利用されてきた。 ・地区分館長を中心として年間活動を実施するほか、地域の集会所として機能している。
施設の現状	・全体的な耐久性に問題はないと思われるが、経年劣化による破損等が数か所みられる。
今後の方向性	・地域住民の利便性を考慮しつつ、必要箇所の修繕を図りながら、長寿命化に取り組んでいく。

施設 No.14 大針分館

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	大針分館			所 管 課	生涯学習課
所 在 地	大字支倉字西原 60			施設分類	社会教育系施設（公民館）
代表建築年度	平成 15 年（2003 年）度				
建 築 費	22,783,950 円	取得価額			
構 造	木造				
延床面積	204.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	22 年	耐震改修	－		
稼働年数	16 年	避 難 所	○		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	779 人	739 人	695 人	729 人	612 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00
稼働日数（稼働率）	62 日（17%）	59 日（16%）	55 日（15%）	61 日（17%）	57 日（16%）
運営経費	1,271,284 円	1,263,286 円	1,263,906 円	1,240,655 円	2,369,167 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
令和元年度	川崎町指定避難所空調設備整備事業	1,110,963 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・川崎町公民館の分館であり、地域に根差した公民館活動を行う拠点として長く住民活動に利用されてきた。 ・地区分館長を中心として年間活動を実施するほか、地域の集会所として機能している。
施設の現状	・全体的な耐久性に問題はないと思われるが、経年劣化による破損等が数か所みられる。
今後の方向性	・地域住民の利便性を考慮しつつ、必要箇所の修繕を図りながら、長寿命化に取り組んでいく。

施設 No.15 支倉台分館

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	支倉台分館			所 管 課	生涯学習課
所 在 地	支倉台一丁目 11-47			施設分類	社会教育系施設（公民館）
代表建築年度	昭和 59 年（1984 年）度				
建 築 費	31,008,000 円	再調達価額			
構 造	鉄骨造				
延床面積	152.12 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	34 年	耐震改修	－		
稼働年数	35 年	避 難 所	○		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	1,784 人	2,168 人	2,491 人	1,664 人	1,645 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00
稼働日数（稼働率）	104 日（28%）	105 日（29%）	115 日（32%）	105 日（29%）	110 日（30%）
運営経費	1,159,258 円	1,153,043 円	1,462,931 円	510,490 円	2,084,329 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
令和元年度	川崎町指定避難所空調設備整備事業	1,891,840 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・川崎町公民館の分館であり、地域に根差した公民館活動を行う拠点として長く住民活動に利用されてきた。 ・地区分館長を中心として年間活動を実施するほか、地域の集会所として機能している。
施設の現状	・全体的な耐久性に問題はないと思われるが、経年劣化による破損等が数か所みられる。
今後の方向性	・地域住民の利便性を考慮しつつ、必要箇所の修繕を図りながら、長寿命化に取り組んでいく。

施設 No.16 川崎町山村開発センター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	川崎町山村開発センター			所 管 課	農林課
所 在 地	大字前川字裏丁 175-1			施設分類	社会教育系施設（開発センター）
代表建築年度	昭和 56 年（1981 年）度				
建 築 費	464,400,000 円	再調達価額			
構 造	鉄筋コンクリート				
延床面積	1,735.43 ㎡	耐震基準	旧		
耐用年数	50 年	耐震改修	○		
稼働年数	38 年	避 難 所	○		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	12,818 人	13,007 人	12,648 人	13,011 人	12,353 人
職 員 数	正 17 人 臨 3 人	正 17 人 臨 3 人	正 17 人 臨 3 人	正 17 人 臨 3 人	正 17 人 臨 3 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30～17:15	8:30～17:15	8:30～17:15	8:30～17:15	8:30～17:15
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	48,440,472 円	50,658,897 円	51,646,914 円	51,704,467 円	55,227,239 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 22 年度	川崎町山村開発センター耐震外改造工事	10,542,000 円
令和元年度	川崎町山村開発センター 3 階トイレ改修工事	1,080,000 円
令和元年度	川崎町山村開発センター玄関スロープ改修工事	1,188,000 円
令和元年度	川崎町山村開発センター高圧受電設備改修工事	1,058,400 円
令和 2 年度	川崎町山村開発センター高圧負荷開閉器工事	1,246,300 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 1 階には農林課、農業委員会、川崎町観光協会、2 階には川崎町土地改良区が設置されている。会議室や研修室、調理室などもあり、職員はもとより一般町民も利用している。
施設の現状	・ 施設自体が経年劣化で老朽化が進んでいる。 ・ 平成 14 年に空調設備を導入しているが、不具合が度々発生している。
今後の方向性	・ 現在ある施設を引き続き維持管理していく。

施設 No.17 川内地区生活改善センター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	川内地区生活改善センター			所 管 課	農林課
所 在 地	大字川内字荒羽賀 252-3			施設分類	社会教育系施設（集落センター等）
代表建築年度	昭和 48 年（1973 年）度				
建 築 費	23,840,000 円	再調達価額			
構 造	木造				
延床面積	149.00 m ²	耐震基準	旧		
耐用年数	22 年	耐震改修	－		
稼働年数	46 年	避 難 所	○		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	792 人	769 人	746 人	723 人	1,792 人
職 員 数	—	—	—	—	—
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	423,705 円	368,808 円	207,729 円	1,097,553 円	1,441,398 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 30 年度	屋根塗装工事	805,226 円
令和元年度	指定避難所空調設備整備事業（請 4 号）	1,168,429 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 集会等で地域住民が活用している。
施設の現状	・ 施設自体が経年劣化で老朽化が進んでいる。
今後の方向性	・ 現在ある施設を引き続き維持管理していく。

施設 No.18 天神地区生活改善センター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	天神地区生活改善センター			所 管 課	農林課
所 在 地	大字川内字天神原山 28-2			施設分類	社会教育系施設（集落センター等）
代表建築年度	昭和 54 年（1979 年）度				
建 築 費	28,640,000 円	再調達価額			
構 造	木造				
延床面積	179.01 ㎡	耐震基準	旧		
耐用年数	22 年	耐震改修	－		
稼働年数	40 年	避 難 所	○		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	938 人	1,109 人	1,080 人	851 人	1,324 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	204,065 円	202,811 円	420,029 円	242,226 円	1,445,257 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
令和元年度	指定避難所空調設備整備事業（請 4 号）	1,162,209 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 集会等で地域住民が活用している。
施設の現状	・ 施設自体が経年劣化で老朽化が進んでいる。
今後の方向性	・ 現在ある施設を引き続き維持管理していく。

施設 No.19 腹帯地区集落センター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	腹帯地区集落センター			所 管 課	農林課
所 在 地	大字前川字松葉森山 1-160			施設分類	社会教育系施設（集落センター等）
代表建築年度	昭和 55 年（1980 年）度				
建 築 費	24,960,000 円	再調達価額			
構 造	木造				
延床面積	156.33 ㎡	耐震基準	旧		
耐用年数	22 年	耐震改修	－		
稼働年数	39 年	避 難 所	○		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	624 人	553 人	582 人	611 人	639 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	183,100 円	128,736 円	137,478 円	139,159 円	708,046 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
令和元年度	指定避難所空調設備整備事業（請 6 号）	512,301 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 集会等で地域住民が活用している。
施設の現状	・ 施設自体が経年劣化で老朽化が進んでいる。
今後の方向性	・ 現在ある施設を引き続き維持管理していく。

施設 No.20 前川東部地区集落センター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	前川東部地区集落センター			所 管 課	農林課
所 在 地	大字前川字大向 29-2			施設分類	社会教育系施設（集落センター等）
代表建築年度	昭和 57 年（1982 年）度				
建 築 費	27,360,000 円	再調達価額			
構 造	木造				
延床面積	171.72 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	22 年	耐震改修	－		
稼働年数	37 年	避 難 所	○		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	1,023 人	1,056 人	1,075 人	1,094 人	719 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	211,606 円	189,477 円	195,258 円	192,034 円	1,315,713 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
令和元年度	指定避難所空調設備整備事業（請 5 号）	1,117,325 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 集会等で地域住民が活用している。
施設の現状	・ 施設自体が経年劣化で老朽化が進んでいる。
今後の方向性	・ 現在ある施設を引き続き維持管理していく。

施設 No.21 支倉上地区集落センター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	支倉上地区集落センター			所 管 課	農林課
所 在 地	大字支倉字金田 28-5			施設分類	社会教育系施設（集落センター等）
代表建築年度	昭和 58 年（1983 年）度				
建 築 費	25,280,000 円	再調達価額			
構 造	木造				
延床面積	158.76 ㎡	耐震基準	新		
耐用年数	22 年	耐震改修	－		
稼働年数	36 年	避 難 所	○		
付帯施設	なし				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	547 人	613 人	676 人	585 人	623 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	260,515 円	229,827 円	218,840 円	229,263 円	1,284,086 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
令和元年度	指定避難所空調設備整備事業（請 9 号）	1,055,446 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 集会等で地域住民が活用している。
施設の現状	・ 施設自体が経年劣化で老朽化が進んでいる。
今後の方向性	・ 現在ある施設を引き続き維持管理していく。

施設 No.22 碁石地区集落センター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	碁石地区集落センター			所 管 課	農林課
所 在 地	大字支倉字和合 41			施設分類	社会教育系施設（集落センター等）
代表建築年度	昭和 61 年（1986 年）度				
建 築 費	26,015,000 円	再調達価額			
構 造	木造				
延床面積	216.13 ㎡	耐震基準	新		
耐用年数	22 年	耐震改修	－		
稼働年数	33 年	避 難 所	○		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	1,544 人	1,724 人	1,708 人	1,692 人	1,581 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	149,374 円	150,162 円	199,190 円	159,527 円	1,299,991 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
令和元年度	指定避難所空調設備整備事業（請 8 号）	1,122,971 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 集会等で地域住民が活用している。
施設の現状	・ 施設自体が経年劣化で老朽化が進んでいる。
今後の方向性	・ 現在ある施設を引き続き維持管理していく。

施設 No.23 安達地区集落センター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	安達地区集落センター			所 管 課	農林課
所 在 地	大字本砂金字安達 51-2			施設分類	社会教育系施設（集落センター等）
代表建築年度	昭和 61 年（1986 年）度				
建 築 費	7,243,000 円	再調達価額			
構 造	木造				
延床面積	49.68 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	22 年	耐震改修	－		
稼働年数	33 年	避 難 所	○		
付帯施設	なし				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	96 人	84 人	61 人	72 人	24 人
職 員 数	—	—	—	—	—
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	76,449 円	76,450 円	344,950 円	96,823 円	496,756 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
令和元年度	指定避難所空調設備整備事業（請 4 号）	417,672 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 集会等で地域住民が活用している。
施設の現状	・ 施設自体が経年劣化で老朽化が進んでいる。
今後の方向性	・ 現在ある施設を引き続き維持管理していく。

施設 No.24 本砂金地区集落センター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	本砂金地区集落センター			所 管 課	農林課
所 在 地	大字本砂金字道畑 90-1			施設分類	社会教育系施設（集落センター等）
代表建築年度	昭和 62 年（1987 年）度				
建 築 費	27,040,000 円	再調達価額			
構 造	木造				
延床面積	169.91 ㎡	耐震基準	新		
耐用年数	22 年	耐震改修	－		
稼働年数	32 年	避 難 所	○		
付帯施設	なし				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	909 人	879 人	869 人	849 人	698 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	179,489 円	171,905 円	231,681 円	210,353 円	1,189,139 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
令和元年度	指定避難所空調設備整備事業（請 4 号）	1,031,690 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 集会等で地域住民が活用している。
施設の現状	・ 施設自体が経年劣化で老朽化が進んでいる。
今後の方向性	・ 現在ある施設を引き続き維持管理していく。

施設 No.25 前川西地区集落センター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	前川西地区集落センター			所 管 課	農林課
所 在 地	大字前川字浪形 44-5			施設分類	社会教育系施設（集落センター等）
代表建築年度	平成 6 年（1994 年）度				
建 築 費	33,120,000 円	再調達価額			
構 造	木造				
延床面積	181.36 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	22 年	耐震改修	－		
稼働年数	25 年	避 難 所	○		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	856 人	974 人	883 人	1,092 人	821 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	1,744,836 円	3,193,732 円	211,108 円	216,046 円	2,848,478 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 28 年度	前川西地区集落センター屋根修繕工事	1,544,400 円
令和元年度	指定避難所空調設備整備事業（請 6 号）	943,338 円
令和元年度	前川西部集落センタートイレ等改修工事	1,242,000 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 集会等で地域住民が活用している。
施設の現状	・ 施設自体が経年劣化で老朽化が進んでいる。
今後の方向性	・ 現在ある施設を引き続き維持管理していく。

施設 No.26 支倉郷土文化伝承館

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	支倉郷土文化伝承館			所 管 課	農林課
所 在 地	大字支倉字塩沢 17			施設分類	社会教育系施設（集落センター等）
代表建築年度	平成 6 年（1994 年）度				
建 築 費	112,992,000 円	再調達価額			
構 造	木造				
延床面積	427.51 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	22 年	耐震改修	－		
稼働年数	25 年	避 難 所	○		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	1,580 人	1,704 人	1,428 人	1,552 人	2,133 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	5,907,809 円	4,539,443 円	2,497,808 円	449,642 円	2,870,169 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 29 年度	支倉郷土文化伝承館屋根修繕工事	2,066,580 円
令和元年度	指定避難所空調設備整備事業（請 9 号）	2,059,991 円
令和元年度	支倉郷土文化伝承館トイレ等改修工事	1,155,000 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 集会等で地域住民が活用している。
施設の現状	・ 施設自体が経年劣化で老朽化が進んでいる。
今後の方向性	・ 現在ある施設を引き続き維持管理していく。

施設 No.27 立野地区集落センター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	立野地区集落センター			所 管 課	農林課
所 在 地	大字今宿字立野屋敷 16-1			施設分類	社会教育系施設（集落センター等）
代表建築年度	平成 6 年（1994 年）度				
建 築 費	43,785,000 円	再調達価額			
構 造	木造				
延床面積	237.73 ㎡	耐震基準	新		
耐用年数	22 年	耐震改修	－		
稼働年数	25 年	避 難 所	○		
付帯施設	なし				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	1,620 人	1,721 人	1,622 人	1,523 人	1,850 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	2,337,445 円	1,726,690 円	231,540 円	234,236 円	1,438,867 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
令和元年度	指定避難所空調設備整備事業（請 5 号）	1,195,261 円
令和 2 年度	立野地区集落センタートイレ改修工事	297,000 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 集会等で地域住民が活用している。
施設の現状	・ 施設自体が経年劣化で老朽化が進んでいる。
今後の方向性	・ 現在ある施設を引き続き維持管理していく。

施設 No.28 支倉下地区集落センター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	支倉下地区集落センター			所 管 課	農林課
所 在 地	大字支倉字宮脇東 15-4			施設分類	社会教育系施設（集落センター等）
代表建築年度	平成 10 年（1998 年）度				
建 築 費	32,518,000 円	再調達価額			
構 造	木造				
延床面積	154.85 ㎡	耐震基準	新		
耐用年数	22 年	耐震改修	－		
稼働年数	21 年	避 難 所	○		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	429 人	496 人	387 人	432 人	579 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	1,822,669 円	1,753,253 円	1,743,683 円	1,830,392 円	2,804,445 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
令和元年度	指定避難所空調設備整備事業（請 8 号）	1,000,639 円
令和 2 年度	支倉下地区集落センタートイレ改修工事	726,000 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 集会等で地域住民が活用している。
施設の現状	・ 施設自体が経年劣化で老朽化が進んでいる。
今後の方向性	・ 現在ある施設を引き続き維持管理していく。

施設 No.29 中央コミュニティセンター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	中央コミュニティセンター			所 管 課	地域振興課
所 在 地	大字前川字山長 34-39			施設分類	社会教育系施設（コミュニティセンター）
代表建築年度	平成 3 年（1991 年）度				
建 築 費	29,535,000 円	再調達価額			
構 造	木造				
延床面積	179.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	22 年	耐震改修	－		
稼働年数	28 年	避 難 所	○		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	2,459 人（175 件）	2,472 人（175 件）	2,516 人（184 件）	2,641 人（193 人）	2,284 人（184 件）
職 員 数	—	—	—	—	—
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00
稼働日数（稼働率）	175 日（48%）	175 日（48%）	184 日（50%）	193 日（53%）	184 日（50%）
運営経費	222,106 円	222,106 円	315,038 円	246,403 円	1,439,428 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
令和元年度	指定避難所空調設備整備事業	1,114,971 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 集会等で地域住民が活用している。
施設の現状	・ 老朽化による不具合が発生しているが、最低限の修繕等に対応している。
今後の方向性	・ 建物を維持するため、設備の定期的なメンテナンスを行う。

施設 No.30 本荒町コミュニティセンター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	本荒町コミュニティセンター			所 管 課	地域振興課
所 在 地	大字前川字荒町 17-2			施設分類	社会教育系施設（コミュニティセンター）
代表建築年度	平成 6 年（1994 年）度				
建 築 費	26,565,000 円	再調達価額			
構 造	木造				
延床面積	162.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	22 年	耐震改修	－		
稼働年数	25 年	避 難 所	○		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	1,601 人（131 件）	1,503 人（134 件）	1,598 人（137 件）	1,650 人（136 件）	1,238 人（99 件）
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00
稼働日数（稼働率）	131 日（36%）	134 日（37%）	137 日（38%）	136 日（37%）	99 日（27%）
運営経費	1,464,894 円	1,108,315 円	199,302 円	250,708 円	1,298,694 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
令和元年度	指定避難所空調設備整備事業	1,090,660 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 集会等で地域住民が活用している。
施設の現状	・ 老朽化による不具合が発生しているが、最低限の修繕等で対応している。
今後の方向性	・ 建物を維持するため、設備の定期的なメンテナンスを行う。

施設 No.31 裏丁コミュニティセンター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	裏丁コミュニティセンター			所 管 課	地域振興課
所 在 地	大字前川字裏丁 131-2			施設分類	社会教育系施設（コミュニティセンター）
代表建築年度	平成 14 年（2002 年）度				
建 築 費	92,400,000 円	再調達価額			
構 造	鉄筋コンクリート				
延床面積	336.28 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	47 年	耐震改修	－		
稼働年数	17 年	避 難 所	○		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	932 人（62 件）	1,002 人（123 件）	934 人（81 件）	752 人（46 件）	532 人（51 件）
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00
稼働日数（稼働率）	62 日（17%）	123 日（34%）	81 日（22%）	46 日（13%）	51 日（14%）
運営経費	2,376,657 円	2,376,657 円	2,375,316 円	2,396,530 円	3,642,618 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
令和元年度	指定避難所空調設備整備事業	1,258,955 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 集会等で地域住民が活用している。
施設の現状	・ 老朽化による不具合が発生しているが、最低限の修繕等に対応している。
今後の方向性	・ 建物を維持するため、設備の定期的なメンテナンスを行う。

施設 No.32 川内北川コミュニティセンター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	川内北川コミュニティセンター			所 管 課	地域振興課
所 在 地	大字川内字北川原山 214-6			施設分類	社会教育系施設（コミュニティセンター）
代表建築年度	昭和 57 年（1982 年）度				
建 築 費	197,780,000 円	再調達価額			
構 造	鉄筋コンクリート				
延床面積	899.75 ㎡	耐震基準	新		
耐用年数	47 年	耐震改修	－		
稼働年数	37 年	避 難 所	○		
付帯施設	なし				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	1,464 人（71 件）	1,883 人（75 件）	1,470 人（76 件）	1,314 人（49 件）	1,323 人（51 件）
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00	8:30～21:00
稼働日数（稼働率）	62 日（17%）	75 日（21%）	76 日（21%）	49 日（13%）	51 日（14%）
運営経費	5,370,203 円	5,454,437 円	5,623,807 円	5,868,808 円	8,294,897 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
令和元年度	指定避難所空調設備整備事業	2,547,414 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 集会等で地域住民が活用している。
施設の現状	・ 老朽化による不具合が発生しているが、最低限の修繕等で対応している。
今後の方向性	・ 建物を維持するため、設備の定期的なメンテナンスを行う。

施設 No.33 旧川内小学校

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	旧川内小学校			所 管 課	地域振興課
所 在 地	大字川内字天神前 257-1			施設分類	社会教育系施設（地域活性化施設）
代表建築年度	昭和 61 年（1986 年）度				
建 築 費	181,346,000 円	再調達価額			
構 造	鉄筋コンクリート ほか				
延床面積	2,418.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	47 年	耐震改修	－		
稼働年数	33 年	避 難 所	○		
付帯施設	校舎、体育館、ポンプ室、プール附属室、倉庫				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	0 人	0 人	0 人	6,249 人	6,087 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	貸付	貸付
運営時間	－	－	－	17:00～22:00	17:00～22:00
稼働日数（稼働率）	－	－	－	321 日（88%）	313 日（86%）
運営経費	4,336,196 円	4,336,196 円	5,099,735 円	4,636,613 円	3,893,026 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・廃校となった小学校の校舎を民間事業者へ貸付し、ボルダリングやスケートボードの屋内施設として運営されている。
施設の現状	・老朽化による不具合が発生しているが、最低限の修繕等に対応している。
今後の方向性	・建物を維持するため、設備の定期的なメンテナンスを行う。

施設 No.34 旧本砂金小学校

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	旧本砂金小学校			所 管 課	地域振興課
所 在 地	大字本砂金字道畑 95-1			施設分類	社会教育系施設（地域活性化施設）
代表建築年度	平成元年（1989 年）度				
建 築 費	161,684,000 円	再調達価額			
構 造	鉄筋コンクリート ほか				
延床面積	1,954.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	47 年	耐震改修	－		
稼働年数	30 年	避 難 所	○		
付帯施設	校舎、体育館、ポンプ室、プール附属室				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	0 人	0 人	0 人	3,244 人	3,718 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	貸付	貸付
運営時間	－	－	－	10:00～16:00	10:00～16:00
稼働日数（稼働率）	－	－	－	157 日（43%）	209 日（57%）
運営経費	4,161,085 円	4,161,085 円	4,444,929 円	4,123,446 円	4,094,909 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・廃校となった小学校の校舎を民間事業者へ貸付し、野菜や自然食品の販売、レストランとして運営されている。
施設の現状	・老朽化による不具合が発生しているが、最低限の修繕等で対応している。
今後の方向性	・建物を維持するため、設備の定期的なメンテナンスを行う。

施設 No.35 旧支倉小学校

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	旧支倉小学校			所 管 課	地域振興課
所 在 地	大字支倉字塩沢 9			施設分類	社会教育系施設（地域活性化施設）
代表建築年度	平成 6 年（1994 年）度				
建 築 費	301,299,000 円	再調達価額			
構 造	鉄筋コンクリート ほか				
延床面積	2,458.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	47 年	耐震改修	－		
稼働年数	25 年	避 難 所	○		
付帯施設	校舎、体育館、プール附属室（2 棟）、倉庫				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	0 人	0 人	0 人	21,453 人	20,121 人
職 員 数	—	—	—	—	—
運営方式	直営	直営	直営	貸付	貸付
運営時間	—	—	—	10:00～18:00	10:00～18:00
稼働日数（稼働率）	—	—	—	261 日（72%）	261 日（72%）
運営経費	6,637,021 円	6,637,021 円	6,920,865 円	6,599,383 円	6,570,847 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・廃校となった小学校の校舎を民間事業者へ貸付し、野菜などの地場産品の販売やレストランとして運営されている。
施設の現状	・老朽化による不具合が発生しているが、最低限の修繕等で対応している。
今後の方向性	・建物を維持するため、設備の定期的なメンテナンスを行う。

施設 No.36 旧前川小学校青根分校

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	旧前川小学校青根分校			所 管 課	地域振興課
所 在 地	大字前川字名号下 3-7			施設分類	社会教育系施設（地域活性化施設）
代表建築年度	平成 7 年（1995 年）度				
建 築 費	73,347,000 円	再調達価額			
構 造	木造 ほか				
延床面積	951.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	22 年	耐震改修	－		
稼働年数	24 年	避 難 所	○		
付帯施設	校舎、体育館				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	0 人	0 人	0 人	1,351 人	1,809 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	貸付	貸付
運営時間	－	－	－	日帰り 10:00～15:00 キャンプ 15:00～翌 10:00	日帰り 10:00～15:00 キャンプ 15:00～翌 10:00
稼働日数（稼働率）	－	－	－	150 日（41%）	150 日（41%）
運営経費	2,759,632 円	2,759,632 円	2,879,820 円	851,075 円	1,192,477 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 廃校となった小学校の校舎を民間事業者へ貸付し、アウトドア施設として運営されている。
施設の現状	・ 老朽化による不具合が発生しているが、最低限の修繕等で対応している。
今後の方向性	・ 建物を維持するため、設備の定期的なメンテナンスを行う。

4 保健福祉系施設

施設 No.37 健康福祉センター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	健康福祉センター			所 管 課	保健福祉課
所 在 地	大字前川字北原 23-1			施設分類	保健福祉系施設（医療福祉施設）
代表建築年度	平成 6 年（1994 年）度				
建 築 費	976,297,052 円	再調達価額			
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート ほか				
延床面積	3,751.45 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	50 年	耐震改修	－		
稼働年数	25 年	避 難 所	○		
付帯施設	保健福祉複合施設、障害者小規模作業場、エネルギー棟、公用車庫（2 棟）				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	20,000 人	20,000 人	20,000 人	20,000 人	20,000 人
職 員 数	正 20 人 臨 5 人	正 20 人 臨 5 人	正 19 人 臨 3 人	正 20 人 臨 5 人	正 21 人 臨 3 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営 時間	保健福祉 複合施設	8:30～20:00	8:30～20:00	8:30～20:00	8:30～20:00
	エネルギー棟	8:30～17:15	8:30～17:15	8:30～17:15	8:30～17:15
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	133,506,963 円	136,333,440 円	143,569,947 円	151,302,655 円	144,827,433 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 27 年度	やすらぎの湯湯設備制御盤等更新工事	6,696,000 円
平成 28 年度	健康福祉センター冷温水発生機更新工事	12,420,000 円
平成 29 年度	やすらぎの湯湯ポンプ修繕工事	8,170,200 円
平成 29 年度	やすらぎの湯湯管点検工事	5,670,000 円
令和元年度	やすらぎの湯湯ポンプ修繕工事	10,065,000 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	保健福祉複合施設	・施設内は町保健福祉課、町社会福祉協議会及び障がい者通所施設並びに公衆浴場等が併設され、デイサービス事業や保健福祉事業、子育て支援事業、介護予防事業等を行い、地域住民の保健福祉の増進を図っている。
	エネルギー棟	・機械室として、福祉センターの空調設備、給湯・温泉設備等が設置され、管理を行っている。
	公用車庫 1	・町民バスの車庫として使用している。 ・社会福祉協議会の倉庫として使用している。
	公用車庫 2	・保健福祉課、社会福祉協議会の公用車庫として使用している。
施設の現状	保健福祉複合施設	・築 25 年が経過し、老朽化により設備等に不具合が目立ってきている。特に空調設備の老朽化が著しく、その都度修繕により対応している。 ・また、やすらぎの湯についても湯湯管等設備の老朽化が目立っている。
	エネルギー棟	・建物本体には目立った修繕箇所はないが、設置している各種設備関係については、老朽化が目立ち、随時必要な修繕を行っている。
	公用車庫 1	・軽微な破損は見られるものの使用上の問題はない。
	公用車庫 2	・軽微な破損は見られるものの使用上の問題はない。

今後の方向性	保健福祉複合施設	・空調設備：個々の修繕では対応しきれなくなる恐れもあり、近い将来において、現在の集中管理型の空調設備自体の見直し、新規設備の導入の検討が必要となってきた。
	エネルギー棟	・温泉設備：老朽化により各種設備の更新も必要になってきている。源泉ポンプ等設備の維持管理経費の見通しと利用状況等进行分析し、将来に向けた温泉運営の必要性を検討する必要がある。
	公用車車庫1	・定期的に目視点検を行い、現状維持に努める。
	公用車車庫2	・定期的に目視点検を行い、現状維持に努める。

施設 No.38 国民健康保険川崎病院

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	国民健康保険川崎病院			所 管 課	国保川崎病院
所 在 地	大字前川字北原 23-1			施設分類	保健福祉系施設（医療福祉施設）
代表建築年度	平成 6 年（1994 年）度				
建 築 費					
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート				
延床面積		耐震基準	新		
耐用年数	50 年	耐震改修	－		
稼働年数	25 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

※建築費・延床面積は、施設 No.37「健康福祉センター」（保健福祉複合施設）に含む

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	51,426 人	52,582 人	53,369 人	50,618 人	50,465 人
職 員 数	正 43 人 臨 14 人	正 43 人 臨 15 人	正 43 人 臨 15 人	正 44 人 臨 15 人	正 45 人 臨 15 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	平日受付 8:30～16:30 救急受付 24 時間対応	平日受付 8:30～16:30 救急受付 24 時間対応	平日受付 8:30～16:30 救急受付 24 時間対応	平日受付 8:30～16:30 救急受付 24 時間対応	平日受付 8:30～16:30 救急受付 24 時間対応
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	480,238,744 円	474,410,155 円	499,710,930 円	503,438,174 円	501,135,344 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 27 年度	療養病棟改造工事	14,256,000 円
平成 29 年度	エレベーター修繕（1 号機、2 号機）	2,030,400 円
平成 30 年度	20 号室空調設備修繕工事	1,595,160 円
令和元年度	玄関ホール他照明器具 LED 化工事	3,888,000 円
令和 2 年度	給水ポンプユニット更新工事	2,750,000 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 市民の健康保持に必要な医療を提供するため病院事業を設置する。
施設の現状	・ 平成 7 年 3 月から供用を開始し、25 年が経過しており、建物本体だけでなく空調やエレベーター等の付属設備も老朽化（機能低下）してきている。
今後の方向性	・ 簡易調査の結果、躯体本体（屋根、壁）における損傷による大規模修繕を要する案件は見当たらない。但し、陸屋根部分におけるモルタル及びパッキン材の劣化が進んでいるため、今後、対応を検討する。 ・ その他、設備部分においては建築から更新を行っていない状況であり、修繕部品の確保もままならない状況であることから、給水、給湯及び空調並びに昇降機において更新若しくは大規模修繕の必要が生じている。 ・ なお、給水設備並びに空調設備の故障が頻発しており、令和 2 年度に給水設備の更新を行ったものの、空調設備については高額であることと、今後の更新方法（セントラル or 個別）が定まっていないことから早急な対応が求められる。

施設 No.39 かわさきこども園

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	かわさきこども園			所 管 課	幼児教育課
所 在 地	大字前川字伊勢原 27			施設分類	保健福祉系施設（子育て支援施設）
代表建築年度	平成 15 年（2003 年）度				
建 築 費	362,927,200 円	再調達価額			
構 造	木造 ほか				
延床面積	2,248.52 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	22 年	耐震改修	－		
稼働年数	16 年	避 難 所	○		
付帯施設	幼児棟、乳児棟、倉庫（2 棟）、 プロパン庫、ごみ集積所				

②利用・運営状況

		平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
園児数	幼児棟	144 人	138 人	135 人	124 人	123 人
	乳児棟	64 人	65 人	64 人	66 人	69 人
職員数	幼児棟	正 10 人 臨 10 人	正 10 人 臨 17 人	正 10 人 臨 9 人	正 10 人 臨 10 人	正 9 人 臨 6 人
	乳児棟	正 10 人 臨 7 人	正 10 人 臨 13 人	正 10 人 臨 9 人	正 10 人 臨 12 人	正 8 人 臨 14 人
運営方式		直営	直営	直営	直営	直営
運営時間		7:30～18:30	7:30～18:30	7:30～18:30	7:30～18:30	7:30～18:30
稼働日数（稼働率）		290 日（79%）	292 日（80%）	293 日（80%）	293 日（80%）	292 日（80%）
運営経費		146,705,686 円	146,572,221 円	144,980,030 円	147,056,181 円	138,018,220 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 29 年度	かわさきこども園トイレブース修繕工事	623,700 円
平成 30 年度	コンプレッサ交換作業	518,400 円
平成 30 年度	エアコンプレート熱交換機交換作業	396,360 円
令和 2 年度	幼児棟床暖房ユニット修繕工事	341,880 円
令和 2 年度	乳児棟床暖房ユニット修繕工事	464,200 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	こども園（幼児棟）	・ 3 歳児から小学校就学前の子どもに対し心身共に健やかな成長と発達を見据えた保育・幼児教育を実施している。 ・ 子育て家庭、就労家庭の育児支援を行っている。 ・ 町内の 3～5 歳児の約 9 割が在園している。
	こども園（乳児棟）	・ 0 歳児からの子どもに対し心身共に健やかな成長と発達を見据えた保育・幼児教育を実施している。 ・ 子育て家庭、就労家庭の育児支援を行っている。 ・ 町内在住の 0～2 歳児の約半数が在園しており、当町の子どもの数は年々減少傾向にあるが乳児棟の利用率は増加している。
	倉庫（幼児棟）	・ 保育用教材、行事用道具、遊具等、施設の清掃用具等を保管している。
	倉庫（乳児棟）	・ 保育用品、遊具等を収納、保管している。
	プロパン庫	・ プロパンガスの保管庫として使用している。
	ごみ集積所	・ ごみ集積所として使用している。

第4章 施設カルテ
《4 保健福祉系施設》

施設の現状	こども園（幼児棟）	・平成 15 年 4 月川崎幼稚園として設置され、平成 21 年に幼保連携こども園として開設された。 ・エアコンや床暖房の経年劣化による故障が増えてきている。
	こども園（乳児棟）	・平成 23 年 2 月末に新築工事落成し、平成 26 年に乳児棟 0 歳児テラスが設置された。 ・水道の故障等による浸水で床に黒いカビもみられる。
	倉庫（幼児棟）	・目立った不具合等はない。
	倉庫（乳児棟）	・目立った不具合等はない。
	プロパン庫	・目立った不具合等はない。
	ごみ集積所	・目立った不具合等はない。
今後の方向性	こども園（幼児棟）	・施設の機器等の修繕をしながら長寿命化させる。
	こども園（乳児棟）	・施設の修繕を行いながら長寿命化をはかる。
	倉庫（幼児棟）	・定期的に目視点検を行いながら維持管理を行う。
	倉庫（乳児棟）	・定期的に目視点検を行いながら維持管理を行う。
	プロパン庫	・定期的に目視点検を行いながら維持管理を行う。
	ごみ集積所	・定期的に目視点検を行いながら維持管理を行う。

施設 No.40 川崎児童教室

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	川崎児童教室			所 管 課	幼児教育課
所 在 地	大字前川字館山西 47-1			施設分類	保健福祉系施設（子育て支援施設）
代表建築年度	昭和 56 年（1981 年）度				
建 築 費	71,720,000 円	再調達価額			
構 造	鉄骨造				
延床面積	440.10 m ²	耐震基準	旧		
耐用年数	34 年	耐震改修	○		
稼働年数	38 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
児 童 数	78 人	95 人	102 人	103 人	98 人
職 員 数	—	—	—	—	—
運営方式	委託	委託	委託	委託	委託
運営時間	平日 13:00~18:00 長期休業時 8:30~18:00	平日 13:00~18:00 長期休業時 8:30~18:00	平日 13:00~18:00 長期休業時 8:30~18:00	平日 13:00~18:00 長期休業時 8:30~18:00	平日 13:00~18:00 長期休業時 8:30~18:00
稼働日数（稼働率）	252 日（69%）	252 日（69%）	252 日（69%）	252 日（69%）	252 日（69%）
運営経費	34,207,282 円	23,752,625 円	24,338,329 円	25,128,446 円	25,488,520 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 27 年度	川崎児童教室耐震工事、屋根雨漏り改修	9,072,000 円
平成 29 年度	川崎児童教室ホール排煙装置修繕工事	388,800 円
平成 30 年度	川崎児童教室床改修工事	1,108,080 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・保護者が労働等で昼間家庭にいない小学生に対し、放課後に適切な生活の場を提供し健全な育成を図るために設置している。 ・在校生の約半数が入室している。
施設の現状	・平成 27 年度に大規模改修（耐震補強および雨漏り等の外部改修工事）を実施した。 ・施設の耐用年数も経過しており、修繕を必要とする箇所が散見される。
今後の方向性	・機器等の修繕を実施しながら長寿命化を図る。

施設 No.41 碁石児童教室

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	碁石児童教室			所 管 課	幼児教育課
所 在 地	大字支倉字川向 49-5			施設分類	保健福祉系施設（子育て支援施設）
代表建築年度	平成 7 年（1995 年）度				
建 築 費	12,600,000 円	再調達価額			
構 造	木造				
延床面積	51.04 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	22 年	耐震改修	－		
稼働年数	24 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
児 童 数	27 人	26 人	25 人	27 人	24 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	委託	委託	委託	委託	委託
運営時間	平日 13:00～18:00 長期休業時 8:30～18:00	平日 13:00～18:00 長期休業時 8:30～18:00	平日 13:00～18:00 長期休業時 8:30～18:00	平日 13:00～18:00 長期休業時 8:30～18:00	平日 13:00～18:00 長期休業時 8:30～18:00
稼働日数（稼働率）	252 日（69%）	252 日（69%）	252 日（69%）	252 日（69%）	252 日（69%）
運営経費	4,777,310 円	6,510,899 円	5,552,315 円	5,082,855 円	6,068,815 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 28 年度	碁石児童教室増築工事	11,388,000 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・保護者が労働等で昼間家庭にいない小学生に対し、放課後に適切な生活の場を提供し健全な育成を図るために設置している。 ・在校生の約 3 割が入室している。
施設の現状	・平成 7 年建築の旧碁石小学校倉庫を平成 21 年度に改修し児童教室として設置した。 ・利用者が増えてきたため平成 28 年度に増築工事を実施した。
今後の方向性	・機器等の修繕をしながら長寿命化を図る。

施設 No.42 今宿児童教室

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	今宿児童教室			所 管 課	幼児教育課
所 在 地	大字今宿字野上町 47-3			施設分類	保健福祉系施設（子育て支援施設）
代表建築年度	昭和 55 年（1980 年）度				
建 築 費	92,750,000 円	再調達価額			
構 造	鉄骨造				
延床面積	371.42 m ²	耐震基準	旧		
耐用年数	34 年	耐震改修	○		
稼働年数	39 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
児 童 数	27 人	26 人	38 人	35 人	30 人
職 員 数	—	—	—	—	—
運営方式	委託	委託	委託	委託	委託
運営時間	平日 13:00～18:00 長期休業時 8:30～18:00	平日 13:00～18:00 長期休業時 8:30～18:00	平日 13:00～18:00 長期休業時 8:30～18:00	平日 13:00～18:00 長期休業時 8:30～18:00	平日 13:00～18:00 長期休業時 8:30～18:00
稼働日数（稼働率）	252 日（69%）	252 日（69%）	252 日（69%）	252 日（69%）	252 日（69%）
運営経費	7,024,270 円	7,748,203 円	22,515,077 円	11,134,404 円	9,644,465 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 29 年度	屋根およびスロープ改修工事	12,212,640 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・保護者が労働等で昼間家庭にいない小学生に対し、放課後に適切な生活の場を提供し健全な育成を図るために設置している。 ・在校生の約 6 割が入室している。
施設の現状	・昭和 55 年 4 月に今宿保育所として設置され、平成 22 年度に今宿児童教室として開室した。 ・平成 29 年度に大規模改修を実施した。（老朽化による屋根修繕とスロープ改修工事） ・施設の耐用年数も過ぎており、修繕を必要とする箇所が散見される。 ・全体的に老朽化しており床がきしむ。事務室のエアコンが故障している。
今後の方向性	・修繕等は児童の安全性を考慮して実施していく。

5 行政系施設

施設 No.43 役場庁舎

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	役場庁舎	所 管 課	総務課
所 在 地	大字前川字裏丁 175-1	施設分類	行政系施設（庁舎等）
代表建築年度	昭和 41 年（1966 年）度		
建 築 費	715,898,000 円		
再調達価額			
構 造	鉄筋コンクリート ほか		
延床面積	2,927.73 m ²		
耐震基準	旧		
耐用年数	50 年		
耐震改修	○		
稼働年数	53 年	避難所	－
付帯施設	本庁舎、西庁舎、書庫、倉庫（2 棟）、ボイラー室、大型バス車庫、大型特殊車用車庫		

②利用・運営状況

		平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数 (件数)	本庁舎	6,752 人	7,432 人	8,190 人	7,156 人	7,687 人
	西庁舎	1,235 人	1,225 人	1,240 人	1,240 人	1,220 人
職員数	本庁舎	正 50 人 臨 7 人	正 48 人 臨 6 人	正 49 人 臨 6 人	正 48 人 臨 5 人	正 50 人 臨 2 人
	西庁舎	正 12 人 臨 1 人	正 12 人 臨 1 人	正 12 人 臨 1 人	正 12 人 臨 1 人	正 12 人 臨 1 人
運営方式		直営	直営	直営	直営	直営
運営時間		8:30～17:30	8:30～17:30	8:30～17:30	8:30～17:30	8:30～17:30
稼働日数 (稼働率)	本庁舎	365 日 (100%)	365 日 (100%)	365 日 (100%)	365 日 (100%)	365 日 (100%)
	西庁舎	247 日 (68%)	245 日 (67%)	248 日 (68%)	248 日 (68%)	244 日 (67%)
運営経費		267,277,979 円	271,253,196 円	267,196,891 円	268,464,783 円	281,345,281 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 28 年度	役場本庁舎地下タンク配管改修工事	550,800 円
平成 29 年度	役場本庁舎職員厚生室屋上防水改修工事	972,000 円
平成 30 年度	役場本庁舎東側フェンス補修工事	842,400 円
令和元年度	役場本庁舎玄関ポーチ柱改修工事	489,000 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	本 庁 舎	・ 1 階には、会計課、町民生活課、税務課、2 階には、町長室、副町長室、総務課、地域振興課、3 階には議会事務局が設置されており、町政の中心である。
	西 庁 舎	・ 1 階は、駐車場、2 階には、建設水道課、3 階には学務課が設置されている。
	書 庫	・ 書類の保管庫として使用している。
	倉 庫 1	・ イベント時に使用する看板などを収納している。
	倉 庫 2	・ 太陽光発電のバッテリーを格納している。
	ボイラー室	・ 役場本庁舎の暖房用ボイラー施設として使用している。
	大型バス車庫	・ 町の大型バス 2 台を格納している。
	大型特殊車用車庫	・ 主に建設水道課が使用し、除雪車や道路維持のための車輛を格納している。

施設の現状	本庁舎	・昭和41年建築で53年経過している。老朽化が進み内・外壁にクラックが多数みられる。また屋上の防水シートに亀裂があり雨漏りが発生している。 ・平成14年に空調設備を導入しているが、不具合が度々発生している。
	西庁舎	・老朽化による不具合が発生しているが、最低限の修繕等で対応している。 ・平成14年に空調設備を導入しているが、不具合が度々発生している。
	書庫	・老朽化による影響で外壁の塗装の剥がれがある。
	倉庫1	・老朽化は進んでいるが使用する上での問題はない。
	倉庫2	・老朽化は進んでいるが使用する上での問題はない。
	ボイラー室	・老朽化は進んでいるが使用する上での問題はない。
	大型バス車庫	・老朽化は進んでいるが使用する上での問題はない。
	大型特殊車用车庫	・老朽化は進んでいるが使用する上での問題はない。
今後の方向性	本庁舎	・施設の定期点検及び日常的な点検を実施し、老朽箇所の把握と安全性の確保を行う。
	西庁舎	・施設の定期点検及び日常的な点検を実施し、老朽箇所の把握と安全性の確保を行う。
	書庫	・建物を維持するため計画的な修繕を実施する。
	倉庫1	・定期的に目視点検を行い、現状維持に努める。
	倉庫2	・定期的に目視点検を行い、現状維持に努める。
	ボイラー室	・定期的に目視点検を行い、現状維持に努める。
	大型バス車庫	・定期的に目視点検を行い、現状維持に努める。
	大型特殊車用车庫	・定期的に目視点検を行い、現状維持に努める。

施設 No.44 富岡支所

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	富岡支所			所 管 課	総務課
所 在 地	大字支倉字塩沢 17			施設分類	行政系施設（庁舎等）
代表建築年度	平成 6 年（1994 年）度				
建 築 費	2,812,000 円	再調達価額			
構 造	木造				
延床面積	29.60 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	22 年	耐震改修	－		
稼働年数	25 年	避 難 所	－		
付帯施設	※支倉郷土文化伝承館内				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	947 人	821 人	758 人	705 人	796 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	委託	委託	委託	委託	委託
運営時間	8:30～17:30	8:30～17:30	8:30～17:30	8:30～17:30	8:30～17:30
稼働日数（稼働率）	247 日（68%）	245 日（67%）	248 日（68%）	248 日（68%）	244 日（67%）
運営経費	3,488,152 円	3,562,407 円	3,542,400 円	3,596,400 円	4,014,756 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・町の業務を行う場所であり、主に支倉地区の住民を対象に各種料・税金の支払い、住民票や納税証明書などの各種証明書の発行業務を行っている。
施設の現状	・集会所である支倉郷土文化伝承館の一室を支所として使用しており、特に目立った不具合はない。
今後の方向性	・定期的に目視点検を行い、現状維持に努める。

施設 No.45 自動車班ポンプ格納庫

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	自動車班ポンプ格納庫			所 管 課	総務課
所 在 地	大字前川字裏尻 31-7			施設分類	行政系施設（消防施設）
代表建築年度	平成 11 年（1999 年）度				
建 築 費	2,604,000 円	取得価額			
構 造	鉄骨造				
延床面積	74.53 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	31 年	耐震改修	－		
稼働年数	20 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	－	－	－	－	－
運営時間	－	－	－	－	－
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	375,286 円	375,286 円	375,286 円	375,286 円	375,286 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 第 1 分団自動車班のポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・ 特に目立った不具合などはない。
今後の方向性	・ 消防団と協議しながら必要に応じて改修する。

施設 No.46 裏丁班ポンプ格納庫

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	裏丁班ポンプ格納庫			所 管 課	総務課
所 在 地	大字前川字裏丁 131-2			施設分類	行政系施設（消防施設）
代表建築年度	平成 17 年（2005 年）度				
建 築 費	7,350,000 円	取得価額			
構 造	鉄骨造				
延床面積	38.64 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	31 年	耐震改修	－		
稼働年数	14 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	－	－	－	－	－
運営時間	－	－	－	－	－
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	527,802 円	527,802 円	527,802 円	527,802 円	527,802 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 第 1 分団裏丁班のポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・ 特に目立った不具合などはない。
今後の方向性	・ 消防団と協議しながら必要に応じて改修する。

施設 No.47 荒町上班ポンプ格納庫

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	荒町上班ポンプ格納庫			所 管 課	総務課
所 在 地	大字前川字中原 8-1			施設分類	行政系施設（消防施設）
代表建築年度	平成 29 年（2017 年）度				
建 築 費	13,305,600 円	取得価額			
構 造	鉄骨造				
延床面積	24.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	31 年	耐震改修	－		
稼働年数	2 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	－	－	－	－	－
運営時間	－	－	－	－	－
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	0 円	0 円	0 円	495,562 円	496,230 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 第 1 分団荒町上班のポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・ 特に目立った不具合などはない。
今後の方向性	・ 消防団と協議しながら必要に応じて改修する。

施設 No.48 荒町下班ポンプ格納庫

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	荒町下班ポンプ格納庫			所 管 課	総務課
所 在 地	大字前川字本町 15-1			施設分類	行政系施設（消防施設）
代表建築年度	平成 20 年（2008 年）度				
建 築 費	1,920,000 円	再調達価額			
構 造	鉄骨造				
延床面積	20.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	31 年	耐震改修	－		
稼働年数	11 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	－	－	－	－	－
運営時間	－	－	－	－	－
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	207,201 円	179,126 円	179,126 円	235,604 円	236,272 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 第 1 分団荒町下班のポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・ 特に目立った不具合などはない。
今後の方向性	・ 消防団と協議しながら必要に応じて改修する。

施設 No.49 中町班ポンプ格納庫

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	中町班ポンプ格納庫			所 管 課	総務課
所 在 地	大字前川字中町 99			施設分類	行政系施設（消防施設）
代表建築年度	平成 21 年（2009 年）度				
建 築 費	1,920,000 円	再調達価額			
構 造	鉄骨造				
延床面積	24.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	31 年	耐震改修	－		
稼働年数	10 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	－	－	－	－	－
運営時間	－	－	－	－	－
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	120,535 円	120,535 円	120,356 円	120,522 円	121,190 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 第 1 分団中町班のポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・ 特に目立った不具合などはない。
今後の方向性	・ 消防団と協議しながら必要に応じて改修する。

施設 No.50 新町班ポンプ格納庫

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	新町班ポンプ格納庫			所 管 課	総務課
所 在 地	大字前川字新町 1-11			施設分類	行政系施設（消防施設）
代表建築年度	平成 30 年（2018 年）度				
建 築 費	14,806,800 円	取得価額			
構 造	コンクリートブロック				
延床面積	24.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	31 年	耐震改修	－		
稼働年数	1 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	－	－	－	－	－
運営時間	－	－	－	－	－
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	0 円	0 円	0 円	5,602 円	546,206 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 第 1 分団新町班のポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・ 特に目立った不具合などはない。
今後の方向性	・ 消防団と協議しながら必要に応じて改修する。

施設 No.51 小野班ポンプ格納庫

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	小野班ポンプ格納庫			所 管 課	総務課
所 在 地	大字小野字大久保 12-5			施設分類	行政系施設（消防施設）
代表建築年度	平成 26 年（2014 年）度				
建 築 費	9,872,280 円	取得価額			
構 造	鉄骨造				
延床面積	25.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	31 年	耐震改修	－		
稼働年数	5 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	－	－	－	－	－
運営時間	－	－	－	－	－
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	380,413 円	382,789 円	382,533 円	382,699 円	383,367 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 第 2 分団小野班のポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・ 特に目立った不具合などはない。
今後の方向性	・ 消防団と協議しながら必要に応じて改修する。

施設 No.52 大針班ポンプ格納庫

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	大針班ポンプ格納庫			所 管 課	総務課
所 在 地	大字支倉字大針 20-3			施設分類	行政系施設（消防施設）
代表建築年度	平成 22 年（2010 年）度				
建 築 費	5,859,000 円	取得価額			
構 造	コンクリートブロック				
延床面積	24.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	34 年	耐震改修	－		
稼働年数	9 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	－	－	－	－	－
運営時間	－	－	－	－	－
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	232,774 円	232,774 円	232,518 円	232,684 円	233,352 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 第 2 分団大針班のポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・ 特に目立った不具合などはない。
今後の方向性	・ 消防団と協議しながら必要に応じて改修する。

施設 No.53 石丸班ポンプ格納庫

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	石丸班ポンプ格納庫			所 管 課	総務課
所 在 地	大字川内字向原 335-3、336-4			施設分類	行政系施設（消防施設）
代表建築年度	平成 27 年（2015 年）度				
建 築 費	13,892,640 円	取得価額			
構 造	鉄骨造				
延床面積	25.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	31 年	耐震改修	－		
稼働年数	4 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	－	－	－	－	－
運営時間	－	－	－	－	－
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	0 円	512,861 円	514,982 円	515,148 円	515,816 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 第 2 分団石丸班のポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・ 特に目立った不具合などはない。
今後の方向性	・ 消防団と協議しながら必要に応じて改修する。

施設 No.54 立野班ポンプ格納庫

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	立野班ポンプ格納庫			所 管 課	総務課
所 在 地	大字今宿字立野屋敷 16			施設分類	行政系施設（消防施設）
代表建築年度	平成 25 年（2013 年）度				
建 築 費	6,342,000 円	取得価額			
構 造	鉄骨造				
延床面積	25.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	31 年	耐震改修	－		
稼働年数	6 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	—	—	—	—	—
職 員 数	—	—	—	—	—
運営方式	—	—	—	—	—
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	238,004 円	238,004 円	237,839 円	238,005 円	238,497 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 第 3 分団立野班のポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・ 特に目立った不具合などはない。
今後の方向性	・ 消防団と協議しながら必要に応じて改修する。

施設 No.55 野上上班ポンプ格納庫

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	野上上班ポンプ格納庫			所 管 課	総務課
所 在 地	大字今宿字西林山 1-13			施設分類	行政系施設（消防施設）
代表建築年度	平成 12 年（2000 年）度				
建 築 費	8,239,000 円	取得価額			
構 造	鉄骨造				
延床面積	32.50 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	31 年	耐震改修	－		
稼働年数	19 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	－	－	－	－	－
運営時間	－	－	－	－	－
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	329,152 円	329,152 円	328,945 円	329,111 円	329,779 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 第3分団野上上班のポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・ 特に目立った不具合などはない。
今後の方向性	・ 消防団と協議しながら必要に応じて改修する。

施設 No.56 野上下班ポンプ格納庫

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	野上下班ポンプ格納庫			所 管 課	総務課
所 在 地	大字今宿字野上町 1-1			施設分類	行政系施設（消防施設）
代表建築年度	平成 4 年（1992 年）度				
建 築 費	3,570,000 円	取得価額			
構 造	鉄骨造				
延床面積	46.60 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	31 年	耐震改修	－		
稼働年数	27 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	—	—	—	—	—
職 員 数	—	—	—	—	—
運営方式	—	—	—	—	—
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	176,186 円	176,186 円	175,082 円	175,248 円	175,916 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 第 3 分団野上下班のポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・ 特に目立った不具合などはない。
今後の方向性	・ 消防団と協議しながら必要に応じて改修する。

施設 No.57 古関班ポンプ格納庫

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	古関班ポンプ格納庫			所 管 課	総務課
所 在 地	大字今宿字吹畑 8-1			施設分類	行政系施設（消防施設）
代表建築年度	平成 15 年（2003 年）度				
建 築 費	5,040,000 円	取得価額			
構 造	鉄骨造				
延床面積	20.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	31 年	耐震改修	－		
稼働年数	16 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	－	－	－	－	－
運営時間	－	－	－	－	－
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	224,088 円	224,088 円	223,316 円	224,150 円	224,150 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 第 3 分団古関班のポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・ 特に目立った不具合などはない。
今後の方向性	・ 消防団と協議しながら必要に応じて改修する。

施設 No.58 笹谷班ポンプ格納庫

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	笹谷班ポンプ格納庫			所 管 課	総務課
所 在 地	大字今宿字神林 7-2			施設分類	行政系施設（消防施設）
代表建築年度	平成 8 年（1996 年）度				
建 築 費	7,416,000 円	取得価額			
構 造	鉄骨造				
延床面積	36.05 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	31 年	耐震改修	－		
稼働年数	23 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	—	—	—	—	—
職 員 数	—	—	—	—	—
運営方式	—	—	—	—	—
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	301,702 円	301,702 円	301,466 円	301,632 円	302,300 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 第 3 分団笹谷班のポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・ 特に目立った不具合などはない。
今後の方向性	・ 消防団と協議しながら必要に応じて改修する。

施設 No.59 音無班ポンプ格納庫

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	音無班ポンプ格納庫			所 管 課	総務課
所 在 地	大字支倉字金田 29-41			施設分類	行政系施設（消防施設）
代表建築年度	平成 24 年（2012 年） 度				
建 築 費	6,825,000 円	取得価額			
構 造	鉄骨造				
延床面積	24.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	31 年	耐震改修	－		
稼働年数	7 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	－	－	－	－	－
運営時間	－	－	－	－	－
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	282,455 円	282,455 円	282,290 円	282,456 円	283,124 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 27 年度	消防団第 4 分団音無班格納庫敷地舗装工事	356,400 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 第 4 分団音無班のポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・ 特に目立った不具合などはない。
今後の方向性	・ 消防団と協議しながら必要に応じて改修する。

施設 No.60 支倉中班ポンプ格納庫

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	支倉中班ポンプ格納庫			所 管 課	総務課
所 在 地	大字支倉字塩沢 17			施設分類	行政系施設（消防施設）
代表建築年度	平成 16 年（2004 年）度				
建 築 費	5,600,000 円	取得価額			
構 造	鉄骨造				
延床面積	38.64 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	31 年	耐震改修	－		
稼働年数	15 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	—	—	—	—	—
職 員 数	—	—	—	—	—
運営方式	—	—	—	—	—
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	242,451 円	242,451 円	241,988 円	242,154 円	242,822 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 第 4 分団支倉中班のポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・ 特に目立った不具合などはない。
今後の方向性	・ 消防団と協議しながら必要に応じて改修する。

施設 No.61 宮下班ポンプ格納庫

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	宮下班ポンプ格納庫			所 管 課	総務課
所 在 地	大字支倉字宮脇東 15-4			施設分類	行政系施設（消防施設）
代表建築年度	平成 14 年（2002 年）度				
建 築 費	5,355,000 円	取得価額			
構 造	鉄骨造				
延床面積	20.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	31 年	耐震改修	－		
稼働年数	17 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	－	－	－	－	－
運営時間	－	－	－	－	－
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	234,543 円	234,543 円	233,711 円	233,877 円	234,545 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 第 4 分団宮下班のポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・ 特に目立った不具合などはない。
今後の方向性	・ 消防団と協議しながら必要に応じて改修する。

施設 No.62 碁石班ポンプ格納庫

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	碁石班ポンプ格納庫			所 管 課	総務課
所 在 地	大字支倉字和合 41			施設分類	行政系施設（消防施設）
代表建築年度	平成 27 年（2015 年）度				
建 築 費	11,550,000 円	取得価額			
構 造	鉄骨造				
延床面積	24.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	31 年	耐震改修	－		
稼働年数	4 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	－	－	－	－	－
運営時間	－	－	－	－	－
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	0 円	409,642 円	409,593 円	409,869 円	410,361 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 第 4 分団碁石班のポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・ 特に目立った不具合などはない。
今後の方向性	・ 消防団と協議しながら必要に応じて改修する。

施設 No.63 支倉台班ポンプ格納庫

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	支倉台班ポンプ格納庫			所 管 課	総務課
所 在 地	支倉台一丁目 11-18			施設分類	行政系施設（消防施設）
代表建築年度	平成 10 年（1998 年）度				
建 築 費	4,935,000 円	取得価額			
構 造	鉄骨造				
延床面積	30.46 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	31 年	耐震改修	－		
稼働年数	21 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	－	－	－	－	－
運営時間	－	－	－	－	－
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	220,379 円	220,379 円	219,881 円	220,047 円	220,715 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 第 4 分団支倉台班のポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・ 特に目立った不具合などはない。
今後の方向性	・ 消防団と協議しながら必要に応じて改修する。

施設 No.64 前川班ポンプ格納庫

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	前川班ポンプ格納庫			所 管 課	総務課
所 在 地	大字前川字大向 102-2			施設分類	行政系施設（消防施設）
代表建築年度	平成 6 年（1994 年）度				
建 築 費	6,746,500 円	取得価額			
構 造	鉄骨造				
延床面積	38.64 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	31 年	耐震改修	－		
稼働年数	25 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	—	—	—	—	—
職 員 数	—	—	—	—	—
運営方式	—	—	—	—	—
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	278,350 円	280,451 円	280,211 円	280,320 円	280,879 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 第 5 分団前川班のポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・ 特に目立った不具合などはない。
今後の方向性	・ 消防団と協議しながら必要に応じて改修する。

施設 No.65 浪形班ポンプ格納庫

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	浪形班ポンプ格納庫			所 管 課	総務課
所 在 地	大字前川字浪形 44-1			施設分類	行政系施設（消防施設）
代表建築年度	平成 23 年（2011 年）度				
建 築 費	7,981,550 円	取得価額			
構 造	鉄骨造				
延床面積	24.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	31 年	耐震改修	－		
稼働年数	8 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	－	－	－	－	－
運営時間	－	－	－	－	－
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	320,639 円	320,639 円	320,479 円	320,645 円	321,313 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 第 5 分団浪形班のポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・ 特に目立った不具合などはない。
今後の方向性	・ 消防団と協議しながら必要に応じて改修する。

施設 No.66 腹帯班ポンプ格納庫

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	腹帯班ポンプ格納庫			所 管 課	総務課
所 在 地	大字前川字松葉森山 1-300			施設分類	行政系施設（消防施設）
代表建築年度	平成 27 年（2015 年）度				
建 築 費	12,258,000 円	取得価額			
構 造	鉄骨造				
延床面積	24.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	31 年	耐震改修	－		
稼働年数	4 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	—	—	—	—	—
職 員 数	—	—	—	—	—
運営方式	—	—	—	—	—
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	0 円	461,744 円	461,579 円	461,745 円	462,616 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 第 5 分団腹帯班のポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・ 特に目立った不具合などはない。
今後の方向性	・ 消防団と協議しながら必要に応じて改修する。

施設 No.67 青根班ポンプ格納庫

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	青根班ポンプ格納庫			所 管 課	総務課
所 在 地	青根温泉 6-1			施設分類	行政系施設（消防施設）
代表建築年度	平成4年（1992年）度				
建 築 費	4,042,000 円	取得価額			
構 造	鉄骨造				
延床面積	47.70 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	31 年	耐震改修	－		
稼働年数	27 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	－	－	－	－	－
運営時間	－	－	－	－	－
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	190,740 円	190,740 円	190,533 円	190,699 円	191,367 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 第5分団青根班のポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・ 特に目立った不具合などはない。
今後の方向性	・ 消防団と協議しながら必要に応じて改修する。

施設 No.68 川内班ポンプ格納庫

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	川内班ポンプ格納庫			所 管 課	総務課
所 在 地	大字川内字荒羽賀 66-2			施設分類	行政系施設（消防施設）
代表建築年度	平成 11 年（1999 年）度				
建 築 費	4,000,000 円		取得価額		
構 造	鉄骨造				
延床面積	20.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	31 年	耐震改修	－		
稼働年数	20 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	－	－	－	－	－
運営時間	－	－	－	－	－
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	200,849 円	189,347 円	188,773 円	188,939 円	189,607 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 第 6 分団川内班のポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・ 特に目立った不具合などはない。
今後の方向性	・ 消防団と協議しながら必要に応じて改修する。

施設 No.69 天神班ポンプ格納庫

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	天神班ポンプ格納庫			所 管 課	総務課
所 在 地	大字川内字天神前 257-1			施設分類	行政系施設（消防施設）
代表建築年度	平成 25 年（2013 年）度				
建 築 費	7,539,000 円	取得価額			
構 造	鉄骨造				
延床面積	24.00 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	31 年	耐震改修	－		
稼働年数	6 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	—	—	—	—	—
職 員 数	—	—	—	—	—
運営方式	—	—	—	—	—
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	277,505 円	277,505 円	277,340 円	277,506 円	277,998 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 第 6 分団天神班のポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・ 特に目立った不具合などはない。
今後の方向性	・ 消防団と協議しながら必要に応じて改修する。

施設 No.70 本砂金班ポンプ格納庫

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	本砂金班ポンプ格納庫			所 管 課	総務課
所 在 地	大字本砂金字道畑 95-1			施設分類	行政系施設（消防施設）
代表建築年度	平成 28 年（2016 年）度				
建 築 費	12,773,160 円	取得価額			
構 造	鉄骨造				
延床面積	30.50 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	31 年	耐震改修	－		
稼働年数	3 年	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	—	—	—	—	—
職 員 数	—	—	—	—	—
運営方式	—	—	—	—	—
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数（稼働率）	—	—	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	0 円	0 円	478,262 円	478,428 円	479,096 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 第 6 分団本砂金班のポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・ 特に目立った不具合などはない。
今後の方向性	・ 消防団と協議しながら必要に応じて改修する。

6 体育系施設

施設 No.71 B & G海洋センター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	B & G海洋センター			所 管 課	生涯学習課
所 在 地	大字川内字北川原山 92			施設分類	体育系施設（体育施設）
代表建築年度	昭和 59 年（1984 年）度				
建 築 費	489,809,000 円	再調達価額			
構 造	鉄筋コンクリート（一部木造）				
延床面積	1,727.04 m ²	耐震基準	新		
耐用年数	47 年	耐震改修	－		
稼働年数	35 年	避 難 所	○		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	35,625 人	35,119 人	38,840 人	31,038 人	24,467 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	委託	委託	委託	委託	委託
運営時間	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00
稼働日数（稼働率）	360 日（99%）	359 日（98%）	359 日（98%）	359 日（98%）	359 日（98%）
運営経費	39,506,735 円	39,996,879 円	43,813,270 円	42,403,557 円	40,131,485 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 28 年度	B & G 海洋センター 2 階他 LED 化工事	3,121,200 円
平成 29 年度	B & G 海洋センター 高圧受電設備改修工事	2,138,400 円
平成 29 年度	B & G 海洋センター 1 階 LED 工事	1,063,735 円
平成 30 年度	B & G 海洋センター 高圧受電設備改修工事	2,008,800 円
令和元年度	B & G 海洋センター 高圧受電設備改修工事	1,650,000 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・社会教育施設として住民向けスポーツ教室や各種大会の開催など、町民のスポーツ活動の拠点である。休日とはもとより平日の稼働率も高い。 ・センター内はアリーナ、柔剣道場と利用できるトレーニングルーム、会議室がある。隣接するプールや総合グラウンド、多目的コートがあり子供から高齢者まで幅広い年代に利用されている。
施設の現状	・建築から 34 年が経過し、経年劣化による不良箇所が多くみられる。 ・B & G 財団の修繕助成制度があり、令和 2 年度にアリーナ照明 LED 化、暖房機更新、観覧モニター設置など一部改修事業を実施した。 ・また、外壁や屋根、アリーナ床材などは建設時のままであり、計画的な改修対応が必要な状況にある。
今後の方向性	・これまで部分的な修繕を行って改善を図ってきたが、今後、大規模改修によるリノベーション等により、ユニバーサルデザイン化を取り入れ、住民が使いやすい施設として長寿命化を図る必要があると考える。

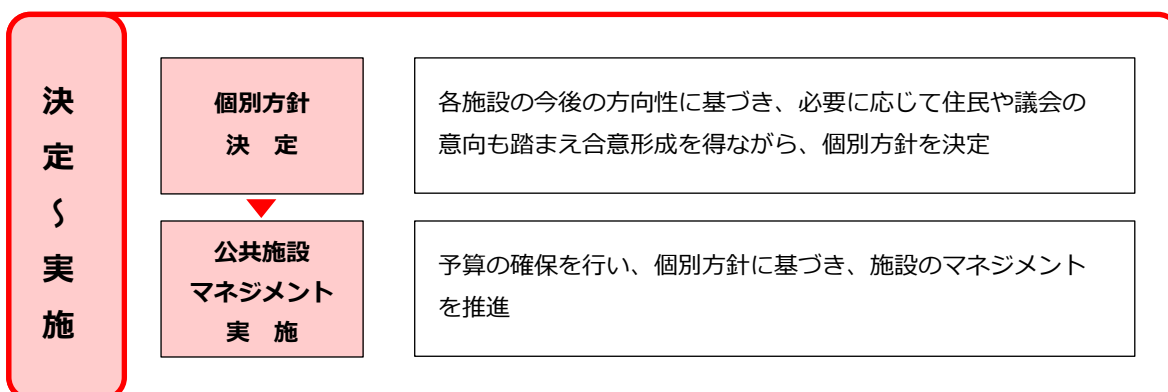
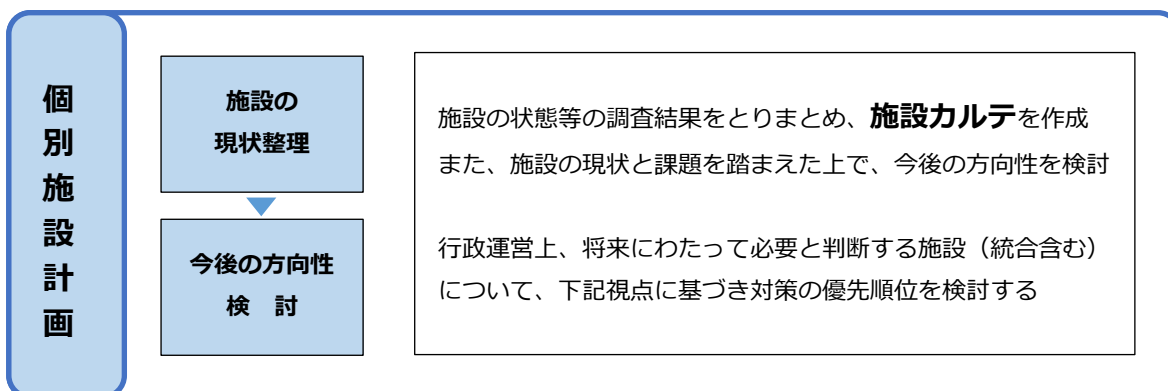
第5章 対策の優先順位の考え方

1 優先順位の考え方

本計画で示した個別施設ごとの今後の方向性を基に、行政運営上、将来にわたって必要と判断する施設について、財政状況を考慮しながら、施設の安全性・機能性・経済性・代替性・社会性などの視点から、今後の保全等にかかる優先順位を検討します。また、必要に応じて住民や議会等とも合意形成を得て方針決定を行い、計画的に予算を確保し、施設のマネジメントを進めます。

ただし、継続利用が必要な公共施設等で、安全性が損なわれている施設や機能性が著しく低下している施設については、優先的に改修等を実施する方針とします。

<優先順位の考え方>



第6章 対策の実施方針

1 施設点検の基本方針

建築基準法第12条に基づく法定点検のほかに、本計画の策定にあたって作成した「老朽化簡易診断調査票」を使用して、所管課職員等による簡易的な施設点検を定期的を実施することで、不具合・危険箇所の早期発見に努めるとともに、各施設の劣化・損耗の状態を把握して予防保全につなげるものとします。

また、社会環境の変化や機能集約により廃止を予定するもの以外の施設については、「長寿命化」を対策の基本方針とし、施設の法定耐用年数を目安に専門家等による老朽化診断を実施して、診断結果に基づき具体的な改修計画を立案します。

＜点検サイクル案＞

点検・診断		R2 (2020)	R3 (2021)	～	R17 (2035)	～	R27 (2045)	～	R37 (2055)
法定点検	建築基準法第12条	○	○	○	○	○	○	○	○
簡易点検	所管課職員等	○	○	○	○	○	○	○	○
老朽化診断	専門家（一級建築士等）	長寿命化を検討する施設を順次診断							

＜老朽化簡易診断調査票＞

調査票(老朽化簡易診断)

基本情報

施設番号		建物番号		調査年月日	
施設名称				調査員	
建物名称				所管課	
施設分類		延床面積	m ²	建築年度	
構造		耐用年数	年	耐震診断	
主/付帯		稼働年数	年	耐震改修	

Ⅰ. 点検項目(躯体)

部位	劣化状況 (複数回答可)	仕様 (該当する場合のみ)	修繕 (当年度)
1.屋根・屋上	☐ 降雨時に雨漏りがある	☐ 保護防水(屋上に出来る)	
	☐ 天井等に雨漏り跡がある	☐ 上記以外の屋上	
	☐ 防水層に膨れ等がある	☐ 勾配屋根(金属板葺等)	
	☐ 屋根材に錆・損傷がある	☐ その他の屋根	
	☐ 屋根・屋上を目視点検できない		
2.外壁	☐ 鉄筋等が見えているところがある	☐ 石・タイル張り	
	☐ 外壁から漏水がある	☐ コンクリート	
	☐ タイルや石が剥がれている	☐ 吹付け	
	☐ 外壁・基礎等に大きな亀裂がある	☐ その他の外壁	
	☐ 塗装の剥がれがある		
	☐ 外部手すり等が錆・腐朽している		
3.外部開口部	☐ 窓・ドアの周りで漏水がある	☐ 普通サッシ・単板ガラス	
	☐ 窓・ドアに錆が多くみられる	☐ 断熱サッシ・省エネガラス	
	☐ 窓・ドアに歪みがあり開閉できない	☐ 防音サッシ	
4.室内	☐ コンクリートの床・壁に亀裂がある	☐ 高い天井の大空間	
	☐ 天井が破損し、落下の危険がある		
	☐ 床仕上材に使用上の支障がある		
5.外構	☐ 地盤沈下による不具合がある	☐ 組積造・CB造の塀	
	☐ 塀・擁壁に倒壊の危険がある	☐ 擁壁	
	☐ 塗装に凸凹が多く崩壊の危険がある	☐ フェンス	

Ⅱ. 点検項目(躯体以外)

部位	劣化状況 (複数回答可)	仕様 (該当する場合のみ)	修繕 (当年度)
1.電気設備	☐ 機器が全面的に錆びている	☐ 埋め込み型照明	
	☐ 照明器具落下の危険がある	☐ 吊り下げ型照明	
	☐ 機器が頻繁に故障する	☐ 特殊設備(高圧、蓄電池等)	
	☐ その他の指摘がある	☐ 自家発電設備(太陽光含む)	
2.給水設備	☐ 水質・水量等で使用に支障がある	☐ 直結方式(ポンプ、水槽等なし)	
	☐ 給水ポンプで異音、漏水がある	☐ ポンプ、受水槽、高置水槽	
	☐ その他の指摘がある		
3.排水設備	☐ 衛生器具等で使用に支障がある	☐ 下水道接続	
	☐ 排水ポンプで異音、漏水がある	☐ 浄化槽	
	☐ その他の指摘がある		
4.空調設備	☐ 空調機器等で使用に支障がある	☐ 個別方式	
	☐ 異音、異臭、漏水がある	☐ 中央方式	
	☐ その他の指摘がある		
5.その他設備	☐ 通常使用に支障がある	☐ エレベーター等の昇降機	
	☐ 頻繁に故障する	☐ 機械式駐車設備	
	☐ その他の指摘がある	☐ 融雪装置	

Ⅲ. その他、要望等があれば自由に記入してください。

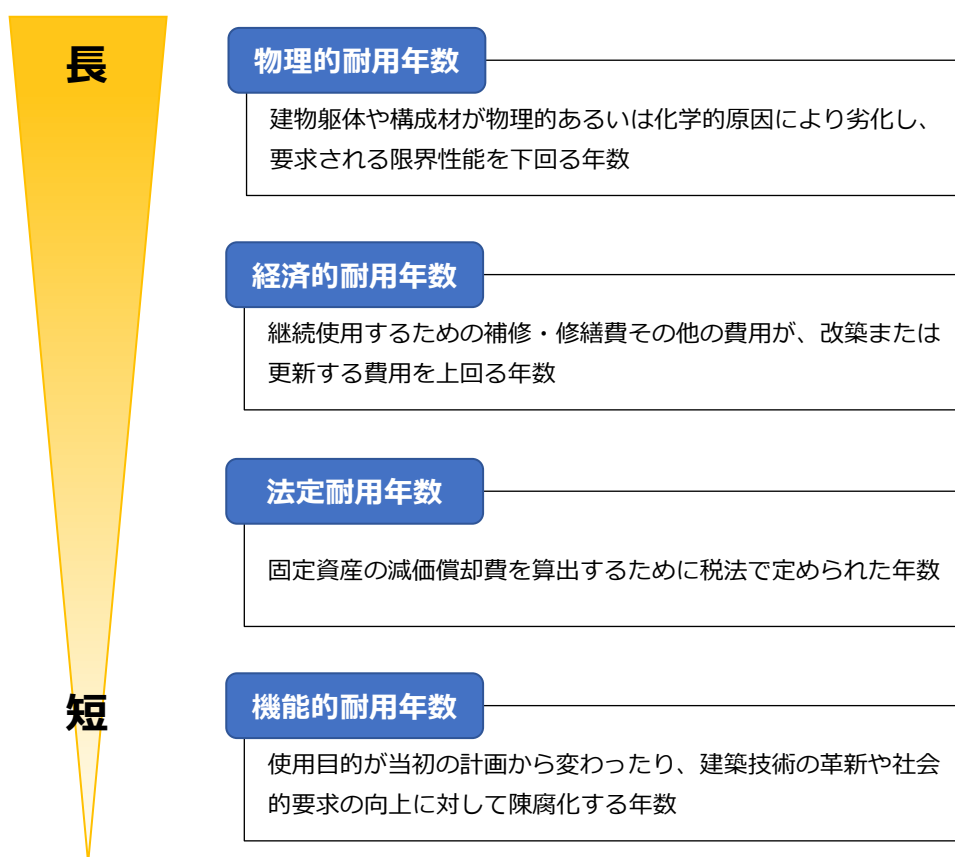
2 長寿命化の基本方針

(1) 建築物の耐用年数の考え方

建築物の耐用年数には、様々な基準や考え方があります。一般的に耐用年数は、「機能的耐用年数 < 法定耐用年数 < 経済的耐用年数 < 物理的耐用年数」となりますが、これまでの施設の寿命は、最短の機能的耐用年数に近かったのが現状です。

しかし、今後、すべての公共施設等を機能的耐用年数を基準に建替えることは財政制約上困難であり、計画的に保全整備を行うことにより施設を長寿命化して供用期間を延ばし、最長の物理的耐用年数に出来る限り近づけることで、ライフサイクルコストの低減を目指します。

<建築物の耐用年数の考え方>



(2) 目標使用年数

公共施設等の長寿命化の目標として、施設使用の計画期間である「目標使用年数」を設定します。

目標使用年数は、施設の計画的な保全を実施するために設定するもので、「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会）を参考に、本計画では建築物の物理的耐用年数まで使用し続けることを原則とし、目標使用年数を構造別に下表のとおりとします。

<目標使用年数>

構 造	耐用年数	
	代表値	目標使用年数
(A) 鉄骨鉄筋コンクリート・鉄筋コンクリート・鉄骨造	60 年	80 年
(B) 軽量鉄骨造・木造・コンクリートブロック	40 年	50 年

※ 基本的には「建築物の耐久計画に関する考え方」に示されている目標耐用年数の最大値（普通品質の場合）を設定しますが、コンクリートブロックは小規模施設が多いため 50 年とします。

<建築物全体の望ましい目標耐用年数の級>

用 途	構造種別		鉄骨造			ブロック造 れんが造	木造
	鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造		重量鉄骨		軽量鉄骨		
	高品質 の場合	普通の品質 の場合	高品質 の場合	普通の品質 の場合			
学校・官庁	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 60 以上
住宅・事務所・病院	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上
店舗・旅館・ホテル	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上
工場	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 25 以上	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 25 以上	Y ₀ 25 以上	Y ₀ 25 以上	Y ₀ 25 以上

出典：日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」

<目標耐用年数の級の区分の例>

級	目標耐用年数		
	代表値	範 囲	下限値
Y ₀ 150 以上	150 年	120 ～ 200 年	120 年
Y ₀ 100 以上	100 年	80 ～ 100 年	80 年
Y ₀ 60 以上	60 年	50 ～ 80 年	50 年
Y ₀ 40 以上	40 年	30 ～ 50 年	30 年
Y ₀ 25 以上	25 年	20 ～ 30 年	20 年

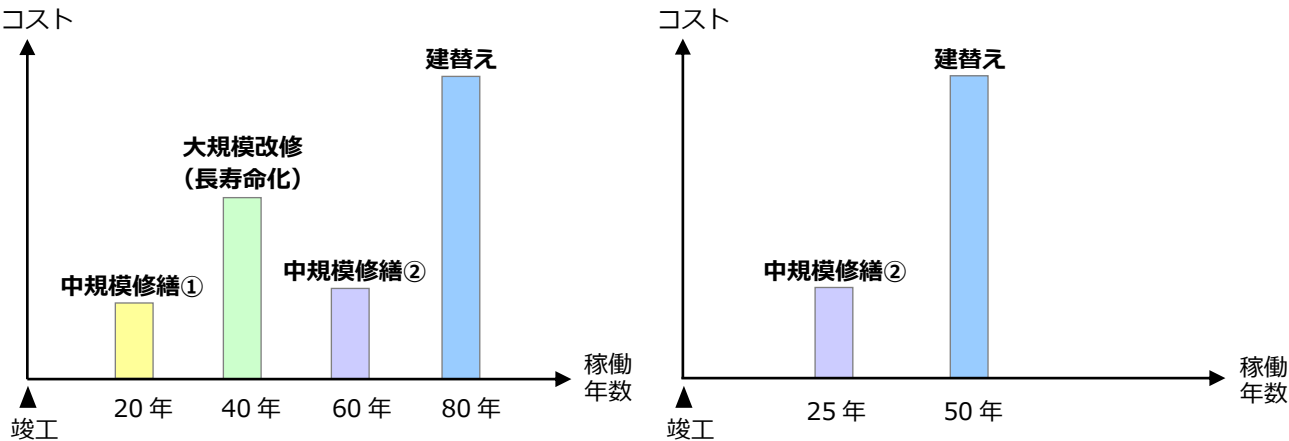
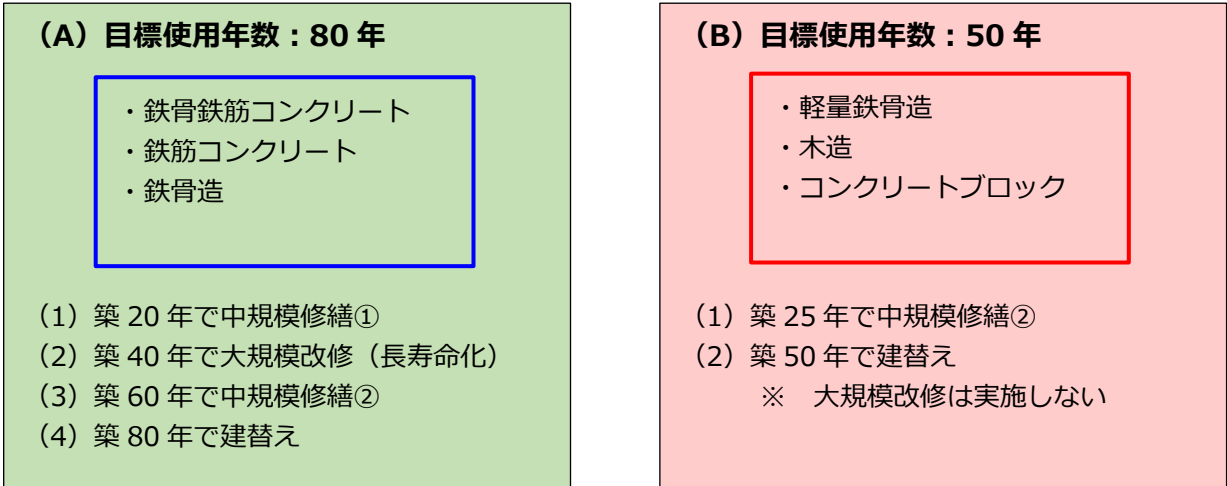
出典：日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」

※ Y₀：目標耐用年数の級を表す記号

(3) 改修時期の考え方

建築物を構造別の目標使用年数まで長寿命化するために、定期的な改修サイクルを設定して計画的に予防保全を実施し、施設の安全性・機能性を維持します。構造別の主な改修時期のイメージと工事内容の例は以下のとおりとします。

＜改修時期のイメージ＞



＜工事内容の例＞

中規模修繕①	中規模修繕②	大規模改修（長寿命化）	
経年劣化による損耗、機能低下に対する機能回復工事		経年劣化による機能回復工事と、耐用性・快適性・省エネ性を確保するための機能向上工事	
・屋上防水改修 ・外壁改修 ・トイレ改修 ・内装改修 ・設備機器改修 ・劣化の著しい部位の修繕 ・故障・不具合修繕 等		・屋上防水改修 ・外壁改修 ・トイレ改修 ・内装改修 ・設備機器改修 ・劣化の著しい部位の修繕 ・故障・不具合修繕 等	・コンクリート中性化対策 ・鉄筋の腐食対策 ・バリアフリー改修 ・外壁・屋上の断熱化改修 ・省エネルギー機器への更新

※工事内容の例は参考にしたものであり、上表以外の内容でもそれぞれの工事の目的に合致するものであれば実施できるものとします。

3 対策費用の試算

(1) 対策費用のシミュレーション方法

長寿命化対策を実施した場合の効果を推計するため、本計画の対象施設の修繕・改修・建替え等工事費用について、以下の2つのケースでコストのシミュレーションを行いました。

ケース①：一般的な建築物の耐用年数である築50年で建替える場合

（構造に関わらず一律築25年で大規模改修、築50年で建替えを行うものとして試算）

※一般財団法人地域総合整備財団＜ふるさと財団＞「公共施設等更新費用試算ソフト」を使用

ケース②：施設の構造ごとの目標使用年数まで長寿命化を図る場合

（構造ごとの目標使用年数及び改修時期を設定して独自に試算）

(2) 対策費用のシミュレーション条件

対策費用のシミュレーションにおける条件の詳細は、以下のとおりとします。

<シミュレーション条件>

項 目		条 件	
更新費用の推計額		事業費ベースでの計算	
計算方法		延床面積×更新単価	
更新単価		次頁の更新単価表のとおり	
<ケース①> 一般的な耐用年数 で建替える場合	耐用年数	50年	
	大規模改修	建築後25年（期間：2年間）	
	建替え	建築後50年（期間：3年間）	
	改修／建替え時期を 超過している施設 （積み残し分）	- 改修／建替え時期を超過している施設（積み残し分）は、今後10年以内に工事を実施するものとして、延床面積×更新単価の1/10の額を10年間にわたって計上 - 今後10年以内に建替え時期を迎える施設は、建替えまでの間は小規模修繕等により使用するものとして、積み残し分の改修費用は計上しない	
<ケース②> 構造ごとの目標使 用年数まで長寿命 化を図る場合	構 造	- 鉄骨鉄筋コンクリート - 鉄筋コンクリート - 鉄骨造	- 軽量鉄骨造 - 木造 - コンクリートブロック
	目標使用年数	80年	50年
	中規模修繕①	建築後20年（期間：1年間）	実施しない
	大規模改修	建築後40年（期間：2年間）	実施しない
	中規模修繕②	建築後60年（期間：1年間）	建築後25年（期間：1年間）
	建替え	建築後80年（期間：3年間）	建築後50年（期間：3年間）
修繕／改修／建替え 時期を超過している 施設 （積み残し分）		- 修繕／改修／建替え時期を超過している施設（積み残し分）は、今後10年以内に工事を実施するものとして、延床面積×更新単価の1/10の額を10年間にわたって計上 - 今後10年以内に次の工事（修繕／大規模改修／建替え）時期を迎える施設は、次の工事までの間は小規模修繕等により使用するものとして、積み残し分の修繕／改修費用は計上しない	

＜更新単価表＞

(万円/㎡)

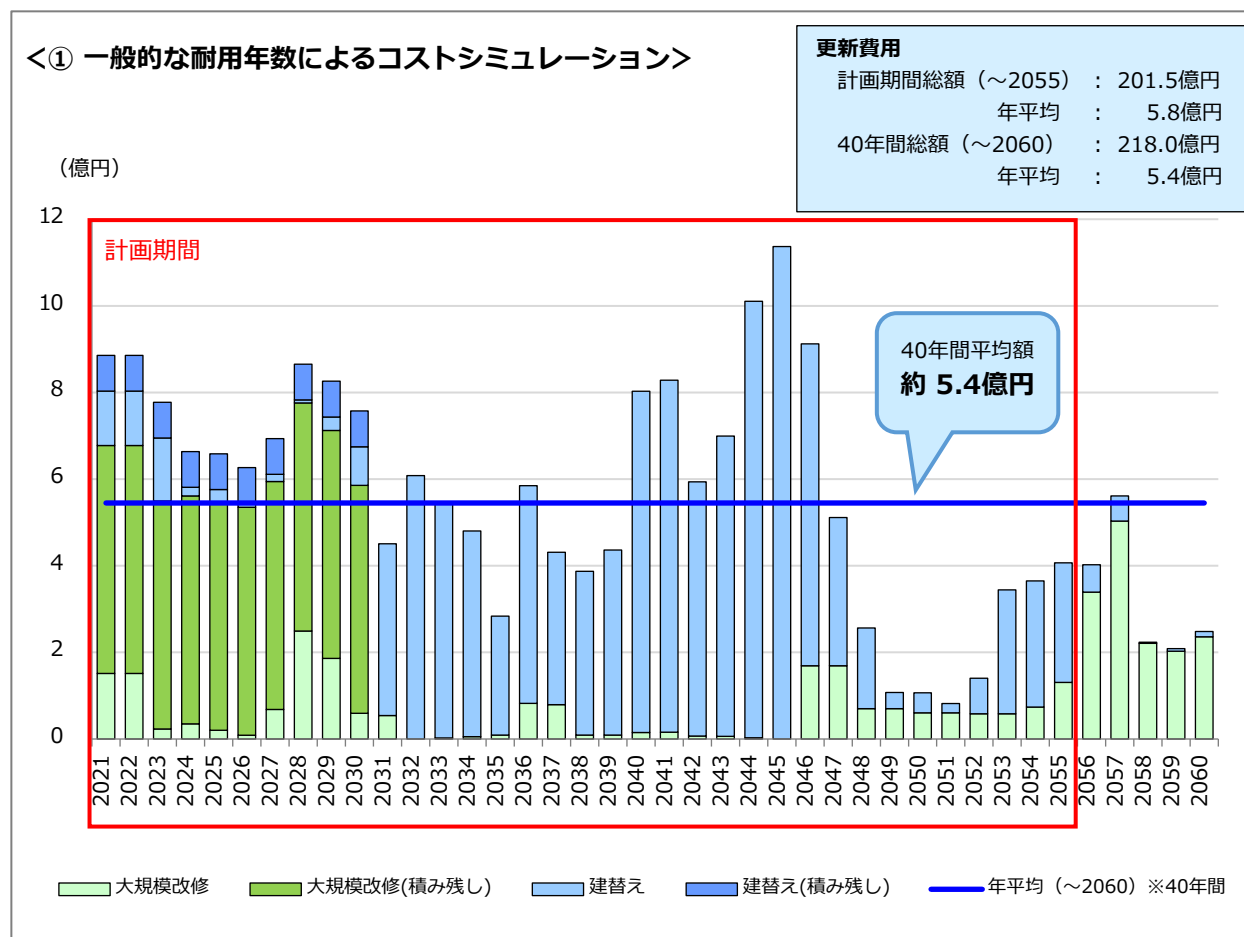
施設大分類	更新区分別単価			
	中規模修繕①	大規模改修	中規模修繕②	建替え
学校教育系施設	8	17	10	33
産業系施設	10	25	12	40
社会教育系施設	10	25	12	40
保健福祉系施設	9	20	11	36
行政系施設	10	25	12	40
体育系施設	9	20	11	36

【解説】

- ・大規模改修及び建替えの更新単価は、総務省「公共施設等更新費用試算ソフト」における標準単価を採用しました。(建替えに伴う解体、仮移転費用、設計料等については上記単価に含むものとして想定)
- ・中規模修繕①は建替えの約 25%、中規模修繕②は建替えの約 30%の更新単価として試算しました。

(3) ケース①：一般的な建築物の耐用年数である築50年で建替える場合

施設の構造に関わらず、一律築25年で大規模改修、築50年で建替えを行うものとして概算費用をシミュレーションすると、本計画の計画期限である令和37年度（2055年度）までの35年間で必要となる費用の総額は約201.5億円（年平均：約5.8億円）、また今後40年間で必要となる費用の総額は約218.0億円（年平均：約5.4億円）の試算結果となります。



＜ケース① 更新費用＞

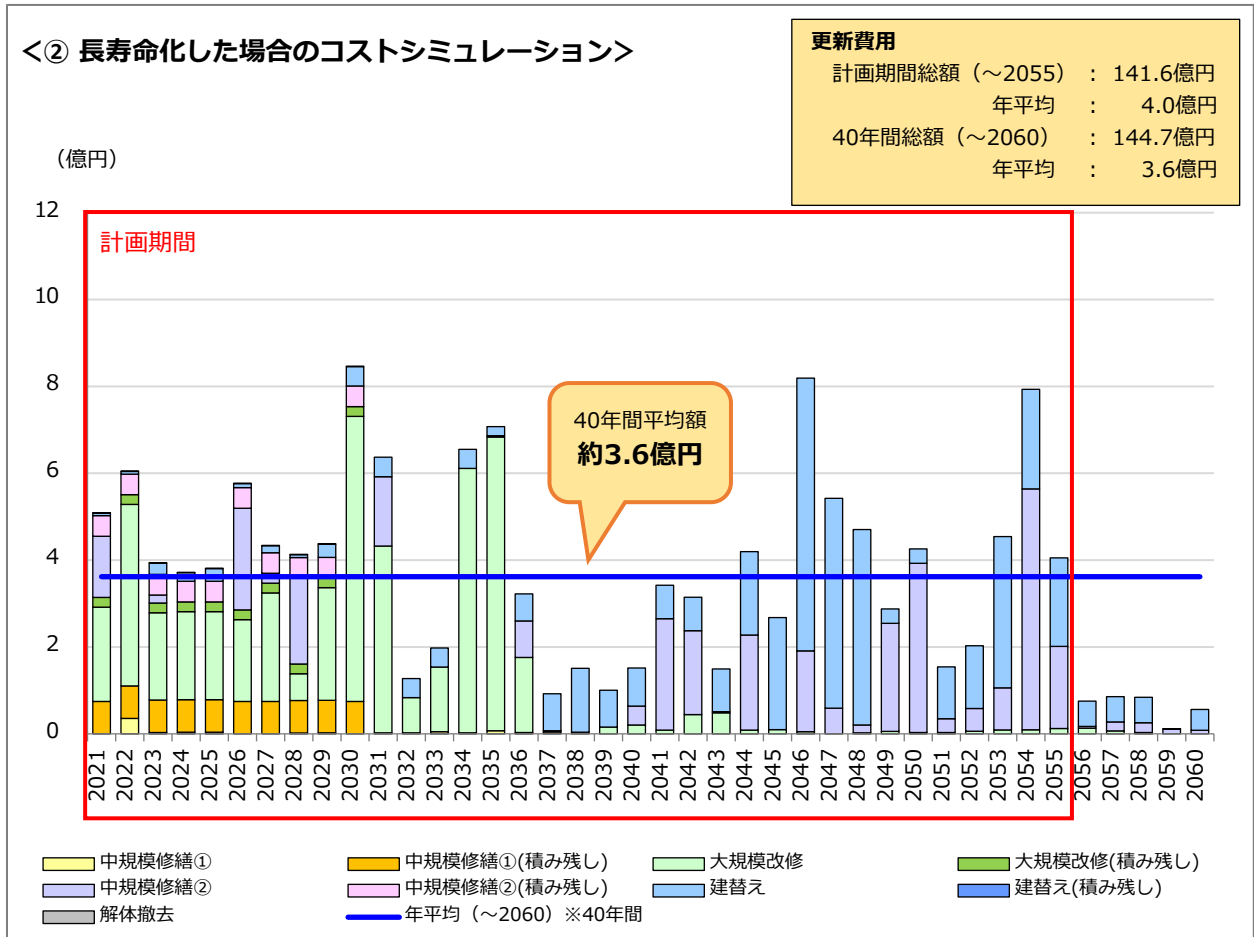
（千円）

更新区分	計画期間（35年間）		40年間	
	2021～2055年度	年平均	2021～2060年度	年平均
大規模改修	2,171,780	62,051	3,673,827	91,846
積み残し	5,263,292	150,380	5,263,292	131,582
建替え	11,891,417	339,755	12,033,369	300,834
積み残し	825,324	23,581	825,324	20,633
合 計	20,151,812	575,766	21,795,812	544,895

※数値は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

(4) ケース②：施設の構造ごとの目標使用年数まで長寿命化を図る場合

本計画で設定した施設の構造ごとの目標使用年数及び改修時期を基に概算費用をシミュレーションすると、本計画の計画期限である令和 37 年度（2055 年度）までの 35 年間で必要となる費用の総額は約 141.6 億円（年平均：約 4.0 億円）、今後 40 年間で必要となる費用の総額は約 144.7 億円（年平均：約 3.6 億円）の試算結果となります。



<ケース② 更新費用>

(千円)

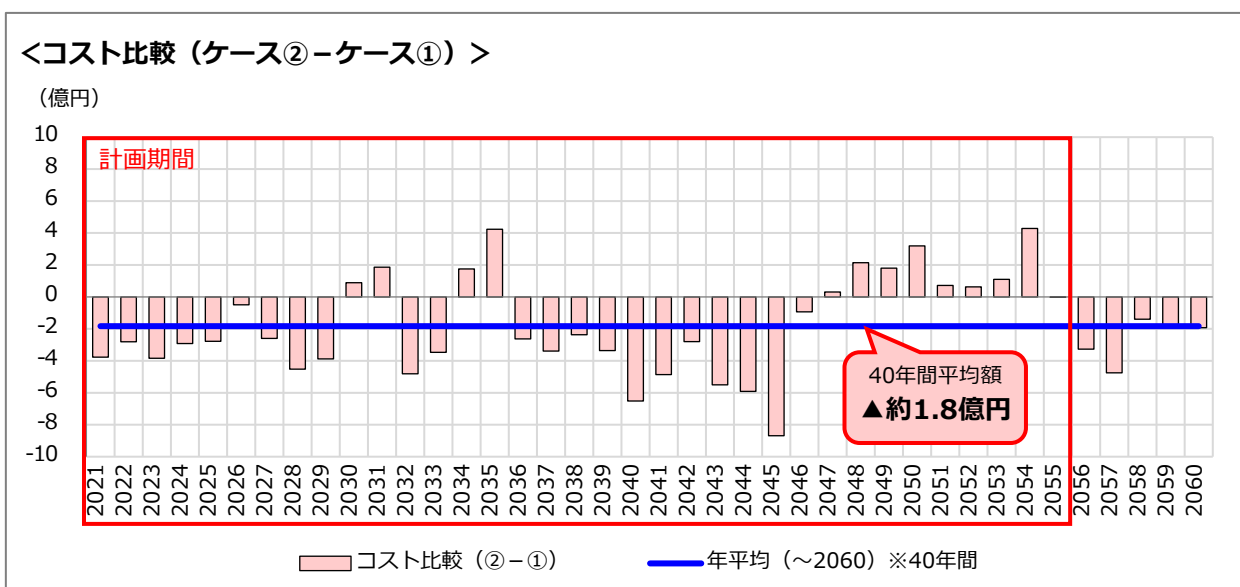
更新区分	計画期間（35 年間）		40 年間	
	2021～2055 年度	年平均	2021～2060 年度	年平均
中規模修繕①	75,824	2,166	75,824	1,896
積み残し	746,942	21,341	746,942	18,674
大規模改修	4,994,247	142,693	5,016,997	125,425
積み残し	224,500	6,414	224,500	5,613
中規模修繕②	3,402,667	97,219	3,469,870	86,747
積み残し	474,011	13,543	474,011	11,850
建替え	4,234,310	120,980	4,457,280	111,432
積み残し	6,804	194	6,804	170
合 計	14,159,304	404,552	14,472,227	361,806

※数値は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

(5) ケース①とケース②の比較

ケース①とケース②の更新費用試算額を比較すると、ケース②で施設の長寿命化を図ることにより、本計画の計画期間である令和 37 年度（2055 年度）までの 35 年間では約 59.9 億円（約 29.7%）、40 年間では約 73.2 億円（約 33.6%）の費用縮減が図れる見込みであることを示しています。

今後、施設の利用状況や老朽化状況に基づき、具体的な対策の優先順位を検討してコストの平準化を図り、町全体として質・量ともに適正な公共施設等の配置を実現することで、将来にわたって持続可能なまちづくりを推進していきます。



＜コスト比較＞

（千円）

試算ケース		計画期間（35 年間）		40 年間	
		2021～2055 年度	年平均	2021～2060 年度	年平均
①	一般的な建築物の耐用年数である築 50 年で建替える場合	20,151,812	575,766	21,795,812	544,895
②	施設の構造ごとの目標使用年数まで長寿命化を図る場合	14,159,304	404,552	14,472,227	361,806
コスト比較（②－①）		▲ 5,992,508	▲ 171,215	▲ 7,323,584	▲ 183,090
縮減率		▲ 29.7%	▲ 29.7%	▲ 33.6%	▲ 33.6%

※数値は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

川崎町個別施設計画

令和 3 年 3 月

発行 川崎町

企画・編集 川崎町 総務課

〒989-1592

宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁 175 番地 1

TEL : 0224-84-2111 (代表)

FAX : 0224-84-6789